VACRON
ADVANCES IN SECURITY SOLUTIONS

取扱説明書

VDH-DX シリーズ

2014 MAY V1.0

目次

A. 注意事項 1
1. 前面パネルの操作 2
2. マウスの操作説明 2
3. リモコンの操作説明 2
B. DVR システムの操作 4
1. 装置の起動 4
2. 装置のシャットダウン 4
3. システムにログイン 4
4. 監視画面 ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**
5. クイックメニュー 6
5.1 メインメニュー 6
5.1.1 録画機能 6
5.1.1.1 時間設定 7
5.1.1.2 録画データの再生 8
5.1.1.3 データのバックアップ 12
5.1.2 アラーム機能 14
5.1.2.1 モーション設定 14
5.1.2.2 映像遮蔽 16
5.1.2.3 信号ロス 17
5.1.2.4 アラーム入力 18
5.1.2.5 警報出力 20
5.1.2.6 HDD 異常表示 20
5.1.2.7 分析（管理機能） 21
5.1.3 システム設定 23
5.1.3.1 基本設定 24
5.1.3.2 録画画質設定 25
5.1.3.3 ネットワーク設定 26
5.1.3.4 メール設定（ネットワークサービス） 27
5.1.3.5 表示設定 28
5.1.3.6 PTZ 設定 29
5.1.3.7 シリアルポート 30
5.1.3.8 ループ表示（自動画面切り替え） 30
5.1.3.9 点セット（スポット出力） 31
5.1.3.10 チャンネル管理 32
5.1.4 管理ツール 32
5.1.4.1 ハードディスク 33
5.1.4.2 アカウント（ユーザー管理） 34
5.1.4.3 オンライン 34
5.1.4.4 表示調整 35
5.1.4.5 自動保全 35
5.1.4.6 初期値（設定の初期化） 35
5.1.4.7 アップグレード 36
5.1.4.8 外部機器 36
5.1.4.9 インポート/エクスポート 36
5.1.5 情報 37
5.1.5.1 ハードディスク情報 37
5.1.5.2 データ転送速度 38
5.1.5.3 ログ情報 38
5.1.5.4 バージョン 38
5.1.6 ログアウト 39
5.2 録画モード 39
5.3 録画再生 39
5.4 PTZ コントロール 40
5.5 高速 PTZ 40
5.6 警報出力 40
5.7 表示調整 40
5.8 画面調整 41
5.9 ログアウト 41
C. ネットワーク遠隔監視 42

A. 注意事項

＜初めて使用されるお客様へ＞

この度、当社製品のご愛顧を頂き、有難うございます。

本装置のご使用前に取扱説明書の内容を良くお読みくださいますようお願い致します。

本シリーズDVRの使用注意事項

- 設置後に本装置の上に物を置かないでください。本装置は、HDDと合わせて使用するため、装置が放熱出来ない状態でのご使用は、お止めください。
- 固体や液体などの異物を装置内部に混入しないようお願いします。
- 定期的にブラシ等で、のほこり取りの清掃作業を行ってください。装置を清掃する前に必ず電源を落としてから清掃作業を行ってください。
- 勝手に本装置を解体、保守、部品交換などをしないでください。装使用不能の場合、ご購入先または、弊社までご連絡ください。速やかにご対処致します。
- 長時間リモコンを使用しない場合、電池の液漏れの可能性がありますので、リモコンから電池を外してください。
- 本装置の設置時に、屋外にカメラを設置した場合、落雷の静電気の影響で本体に損壊の可能性があるため、落雷時は、コンセントプラグをコンセントから抜いてください。

＜使用環境＞

- 直射日光や熱源を避けて、0℃～40℃の環境温度でご使用ください。
- 湿気の多い場所に設置しないでください。
- 煙やほこりの多い場所に設置しないでください。
- 強力な外力を与えたり、落としたりしないでください。
- 安定した振動などのない場所に設置してください。
- 放熱のため、風通しの良い場所に設置ください。
- 規定の電流及び電圧の入力範囲内にてご使用ください。
- 長時間使用する装置なので、安全のため、燃えやすいものや爆発性のものを近くに置かないでください。

1. 前面パネルの操作
   各装置の前面パネルはそれぞれ違います。（別紙）
2. マウスの操作説明
   - ライブ監視画面でマウス[右ボタン]を押すとクイックガイドが起動します。
   - メインメニューでマウス[左ボタン]を押すと、選択した項目のメニューに入ります。
   - メニューモードで[左ボタン]を押すと、選択した項目のサブメニューに入ります。
   - 選択メニューでマウス右ボタンをクリックすると前のメニュー画面に戻ります。
   - サブメニューの『設定値』がマウスや仮想キーボードの使用により設定値を設定できます。
3. リモコンの操作説明
   - 本シリーズ製品に付属のリモコンは単 4 電池 2 個で使用します。
   - 以下はリモコンのボタン機能の説明です。

1	REC	監視モード時に録画選択メニューに入る
2	LOCK	ボタンロック / システムよりログアウト
3	⏮	再生モードで一時停止の状態時、1 フレームで再生
4	►/II	監視モード時に再生及びバックアップモードに入る
		再生時に一時停止
5	⏭	再生モードで一時停止の時、1フレームで再生 (操作前に必ず一時停止のボタンを押す必要あり)
6	◄◄	再生モード時、 1、2、3、4 計 4 段階の再生速度により順番に逆再生
7	■	停止
8	►►	再生モード時、 1、2、3、4 計 4 段階の再生速度により順番に高速再生
9	I►	再生モード時 1、2、3、4 計 4 段階の再生速度により順番にスロー再生
10	►►I	再生時に次の録画ファイルに切り替えて再生
11	INFO	現状システムのバージョン情報を表示
12	SEQ	自動画面切替え 監視モード時に自動画面切替え機能をオン／オフ
13	RESET	警報ボタン 現状の警報情報の表示をキャンセル
14	SEARCH	再生画面にアクセス
15	PTZ	PTZ 操作コントロール画面に入る
16	Z+	PTZ レンズのフォーカス調整(増大)
17	Z-	PTZ レンズのフォーカス調整(減少)
18	F+	PTZ レンズの画面調整(拡大)
19	F-	PTZ レンズの画面調整(縮小)

20	ID	リモコン ID を設定
21	ENTER	選択メニューで設定及び確定
22	▲	UI 選択メニューのモードで、上方向より設定したい項目を選択
		1CH や 4、8、9 分割の LIVE モードで、映像の表示画面をコントロール
		PTZ のコントロール時、上方向
23	▼	UI 選択メニューのモードで、下方向より設定したい項目を選択
		1CH や 4、8、9 分割の LIVE モードで、映像の表示画面をコントロール
		PTZ のコントロール時、下方向
24	◀	UI 選択メニューのモードで、左方向より設定したい項目を選択
		LIVE モード時に 1 画面、4、8、9、16 分割のモードに切替え
		PTZ のコントロール時、左方向
25	▶	UI 選択メニューのモードで、右方向より設定したい項目を選択
		LIVE モード時に 1 画面、4、8、9、16 分割のモードに切替え
		PTZ のコントロール時、右方向
26	MENU	監視モード時、メインメニューにアクセス
27	ESC	各画面より前のメニュー画面へ戻る
28	⊞	4 分割画面表示（4 分割切替え）
29	⊟	8 分割画面表示（8 分割切替え）
30	⊞	9 分割画面表示（9 分割切替え）
31	▦	16 分割画面表示
32	1～10(0)	監視モードや再生モード時に、各チャンネルを拡大表示 数字の入力
33	11～16	監視モードや再生モード時に、各チャンネルを拡大表示

備考：同じ場所に複数台の本装置がある時、まずはリモコンIDを合わせて装置を選択します。
各装置に各自の(DVR ID)を設定する必要があります。設定をしないと、リモコン操作時に同じDVR ID の複数台の装置が同時に動作してしまいます。

■ リモコンによる DVR ID の入力操作

リモコンで【DVR】ボタンを押してから、DVR 装置の DVR ID を入力します。(DVR ID のデフォルト値は“000”、メインメニュー>システム>基本設定にて設定・変更ができます。DVR ID は最大値 998 で設定可能です。リモコンより 3 桁の DVR ID 番号を入力して【ENTER】ボタンを押します。

リモコンの異常 	ˇ **電池の極性を確認** ˇ **電池の電圧残量を確認** ˇ **リモコン受光部の確認** ˇ **蛍光灯の影響を確認**

B. DVR システムの操作

1. 装置の起動

   電源を入れると電源ランプが点灯し、本装置が起動します。
   起動完了後に“ピー”という音が聞こえます。映像出力の初期設定は、分割画面出力のモードです。装置起動時は、自動的に録画状態になります。録画ランプが点灯し、正常に録画動作します。

2. 装置のシャットダウン

   本装置のシャットダウンには、2種類の方法があります。ソフトによるシャットダウンとハードによるシャットダウンです。
   ソフトのシャットダウンは【メインメニュー：ログアウト】>【電源OFF】にてシャットダウンしてから電源を切ります。
   ハードのシャットダウンは、前面パネル上の電源ボタンや後面パネルの電源ボタンを押すと電源の起動やシャットダウンができます。

   説明：

   ■ 停電時の回復機能

   本装置は録画状態で、正常なシャットダウンをしないで装置を再起動の場合、自動的にシャットダウンする前の録画データーを保存し、装置がシャットダウンする前の状態に復旧します。

   ■ HDDの交換

   HDDは、消耗品です。
   24時間連続使用を続ける場合は、2～3年での交換をお勧めします。

3. システムにログイン

   ■ 装置を正常に起動後、操作する前にログインが必要です。ログインするユーザーには、使用制限機能があります。
   ■ ユーザー名のデフォルトは、3種類です。（admin、guest、default）
   adminはユーザーの中で最高権限を持ちます。
   ■ ユーザー入力のデフォルトは、adminでパスワード空白です。

4. 監視画面

■ 装置を正常にログイン後、監視画面が表示されます。マウス右ボタンを押すと、画面の切替えが可能です。

画面の切替え：1 画面 / 4 分割画面 / 8 分割画面 / 9 分割画面 / 16 分割画面 / SPOT モニターの出力などがあります。

■ 全ての監視画面に、日付、時刻、チャンネル名称が表示されます。全ての画面に監視するチャンネルの録画状態と音声状態が表示されます。

日付/時刻

監視するチャンネル/状態

状態表示：

●	録画
🔊	音声

5. クイックメニュー

監視モードでマウス右ボタンを押すと、クイックメニューが表示されます。
メインメニュー、録画モード、録画再生、PTZ コントロール、高速 PTZ、警報出力、色彩調整、表示調整、ログアウトがあります。

5.1 メインメニュー

■ クイックメニュー>メインメニュー

5.1.1 録画機能

■ メインメニュー>録画機能

■

：カメラの録画設定

録画スケジュール / 録画再生/データのバックアップ機能などがあります。

5.1.1.1 時間設定

■ メインメニュー>録画機能>時間設定

■

：録画スケジュール操作の時間設定(各録画の種類内容)

a). CAM：チャンネルをプルダウン選択すると、1 チャンネルか全てを一括設定できます。デフォルトは CH 1 です。

b). 冗長化：HDD 2 個を装着の場合、冗長化機能をオンにすると、録画データを同時に 2 個の HDD に録画します。デフォルトはオフです。

c). 録画単位：録画時間の長さを設定可能です。
最小 1 分、最長 120 分です。デフォルトは 60 分です。

d). 事前録画：警報のトリガー時に、数秒前の映像も録画します。
最少 1 秒、最長 30 秒です。デフォルトは 5 秒です。

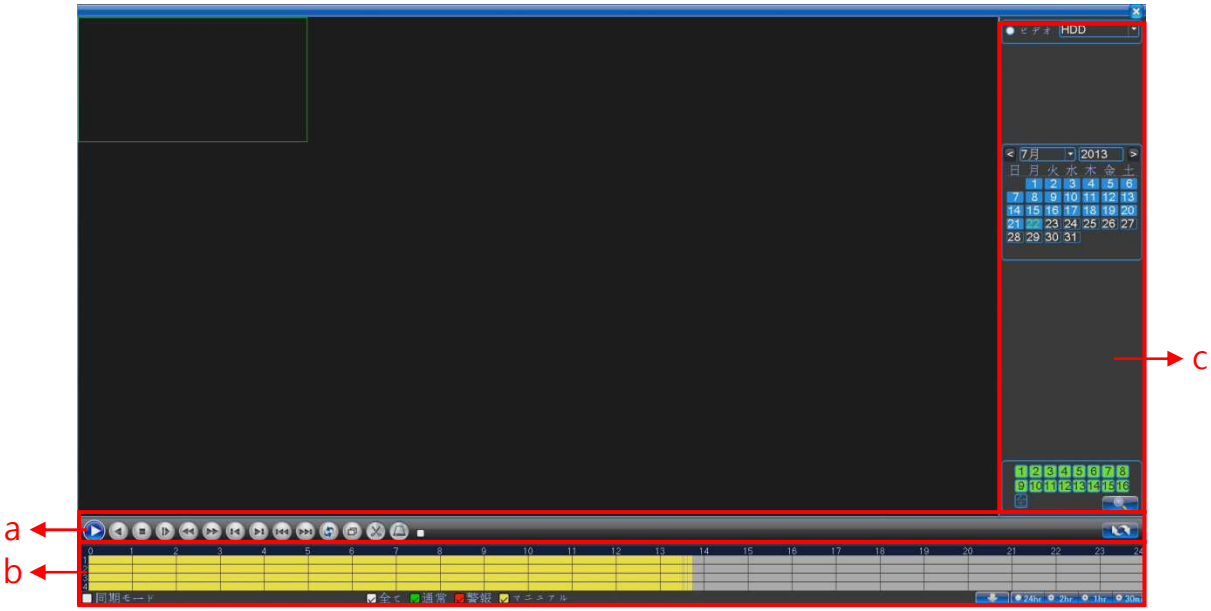
e). 録画モード：設定録画、常時録画、録画しないを選択します。録画モードで設定を選択する時、月曜日から金曜日まで、あるいは全てを設定でき、録画モードと時間を設定します。また、4 つの時間帯を選択できます。設定録画を選択した場合、全てを設定した後に録画が可能になります。常時・自動・警報を全て無効に選択すると録画しません。デフォルトは全て有効設定です。

5.1.1.2 録画データの再生

■ メインメニュー>録画機能>録画再生

■

： 録画データを検索及び再生

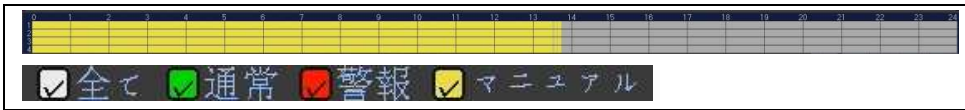


a). ボタンの機能

	再生	日付と再生したいチャンネルを指定し、再生ボタンを押すと、再生を開始します。
	一時停止	再生の一時停止
	逆再生	録画データを逆再生
	停止	再生停止
	スロー再生	1X、2X、3X、4X の速度で選択 正常な速度に戻る場合は、再生ボタンを押します。
	高速逆再生	1X、2X、3X、4X の速度で選択 正常な再生に戻る場合は、再生ボタンを押します。
	高速再生	1X、2X、3X、4X の速度で選択 正常な速度に戻る場合は、再生ボタンを押します。
	コマ送り逆再生	映像を前のフレームで一枚ずつ逆再生
	コマ送り再生	映像を次のフレームで一枚ずつ再生
	前ファイルボタン	1 時間前のファイルを再生
	次ファイルボタン	1 時間次のファイルを再生

	サイクル再生	当日の録画データをサイクル再生 ボタンを押すと停止
	1 画面で表示	映像を 1 画面で拡大 再度押すと通常に戻ります。
	データのバックアップ	録画データを切り取って保存 切り取り開始位置で ボタンを押すと が表示されます。終了位置で を押すと、バックアップファイルが作成されます。
	USB バックアップ	切り取ったデータを USB メモリーにバックアップ
	検索機能の切替ボタン	検索メニューは「日付検索」や「時間検索」に切替え可能 【c ）. 検索メニュー】の説明を参照

b）. 録画状態



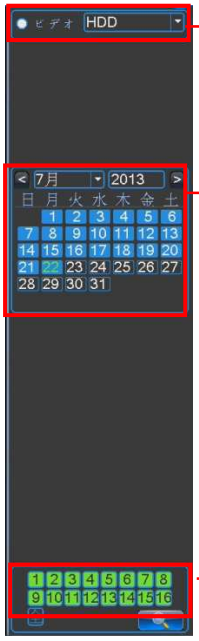
再生画面に録画状態を表示
- 通常：通常の録画状態
- 警報：警報時の録画状態
- マニュアル：手動の録画状態

	チェック入れて再生、一時停止ボタンを押すと、連動して表示されます。 チェックを入れないと、1 つのチャンネルのみ動作します。
	タイムバーの設定変更 24 時間/2 時間/1 時間/30 分間を指定できます。デフォルトは 24 時間

c). 検索メニュー

検索メニュー「日付検索」「時刻検索」の選択

◆ 日付による映像検索

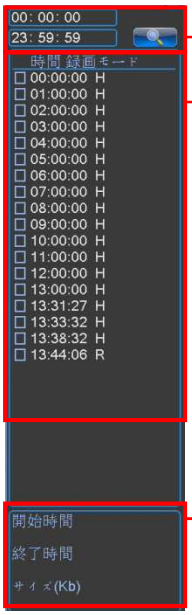


1. HDD に録画データを保存

2. 録画データを選択：年/月/日
青色は録画した日を表示しています。

3. 再生したいチャンネルを選択
選択しているチャンネルが緑色になります。

◆ 時刻による映像検索：「日付による映像検索」にて、再生したい日付を選択し、再度 「切替ボタン」にて、「時刻による映像検索」に切替えてください。日付を選択しない場合は、当日の映像の時刻より検索します。

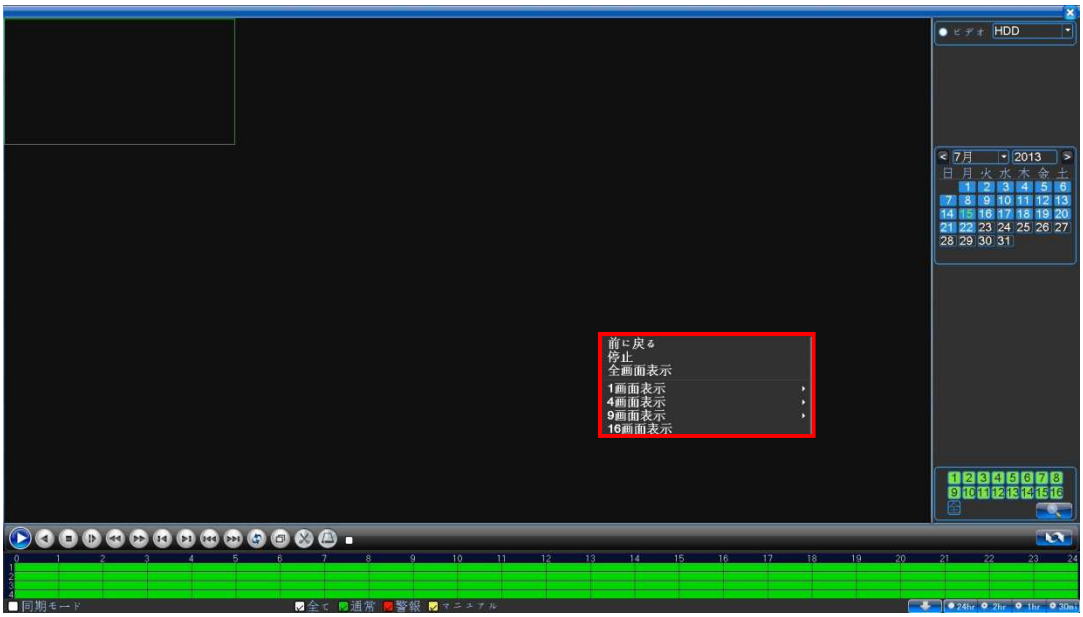


1. 検索したい時刻を指定

2. 再生したい各映像データーを

3. 映像の情報：開始時間/終了時間/ファイルの容量

d). 画面切替えの選択メニュー
マウス右ボタンをクリックすると、画面切替の選択メニューが表示され、画面切替えの選択項目を指定できます。

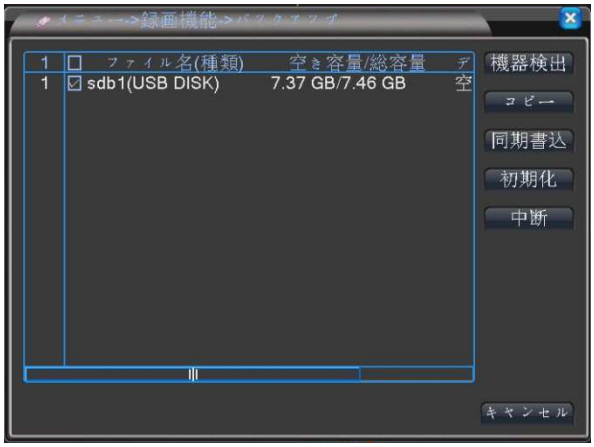


前に戻る	“前の画面に戻る”を選択すると、録画機能画面に戻ります。
停止	停止を選択すると、再生が停止します。
全画面表示	全画面表示を選択すると、映像を最大に拡大マウス右ボタンを押すと、全画面表示をキャンセル
1 画面表示	1 画面表示を選択すると､再生したい映像を CH1～CH16 の任意のチャンネルを 1 画面で再生
4 画面表示	再生したい映像を CH1～CH4/CH5～CH8/CH9～CH12/CH13～CH16 の分割画面で再生
9 画面表示	再生したい映像を CH1～CH8/CH9～CH16 の分割画面で再生
16 画面表示	映像を 16 分割画面で再生

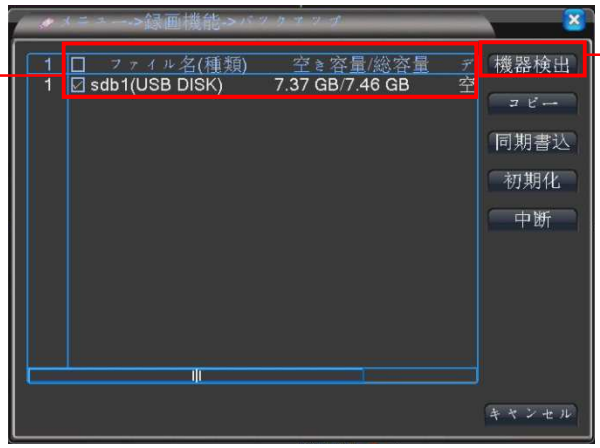
5.1.1.3 データのバックアップ

- メインメニュー>録画機能>バックアップ
-

：指定した録画データをバックアップまたは、指定した録画データを削除



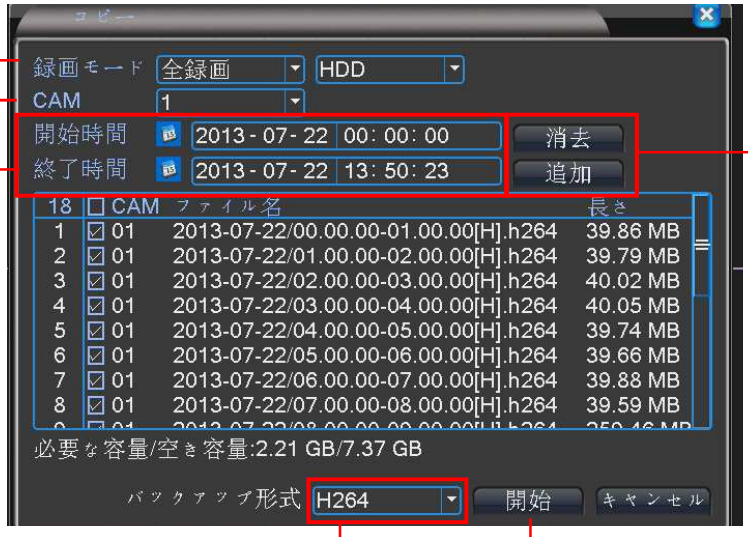
a). USB メモリーの認識：USB メモリーを接続して、機器検出を押すと、USB メモリーを認識し、画面に表示します。



2. 認識された USB メモリー

1. 認識

b). バックアップ：録画データをファイル転換して保存します。



1 バックアップする映像の種類を選択

2.バックアップするチャンネルを選択

3.開始/終了時間を選択

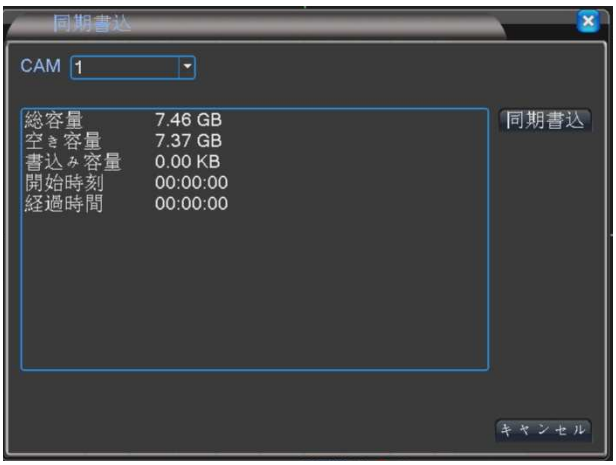
4. 1～3 項のバックアップ条件の設定完了後に「追加」を選択
キャンセルする時は「消去」を選択

5.バックアップの形式を選択

6.バックアップ開始

- ◆ 録画モード：録画の種類は全録画/外部アラーム/モーション検知/全アラーム/自動録画/標準録画から選択します。デフォルトは“全録画“
- ◆ CAM：バックアップしたいチャンネル CH1～CH16 より選択します。デフォルトは CH1
- ◆ 開始時間：バックアップを開始する時間を設定します。
- ◆ 終了時間：バックアップを終了する時間を設定します。
- ◆ 消去：選択したファイルを消去します。
- ◆ 追加：選択した種類やチャンネルを追加します。
- ◆ バックアップの形式：H264 と AVI より選択します。デフォルトは H264

c). 同期書込：CH1～CH16 の任意チャンネルを同時に USB メモリーに録画保存します。



d). 初期化：指定する USB メモリーを初期化します。

e). 中断：バックアップの途中でバックアップ動作は停止します。

5.1.2 アラーム機能

■ メインメニュー>アラーム

:アラーム発生時の録画機能のオン･オフ/モーション設定/映像遮蔽/ビデオ信号ロス/アラーム入力/警報出力/HDD 異常表示/管理分析

5.1.2.1 モーション設定

■ メインメニュー>アラーム>モーション設定

:モーション検知時のアラーム設定(アラーム出力、アラーム録画)

a). CAM：CH1～CH16 のチャンネル毎の設定または全てを一括設定
b). 有効：モーション検知を設定　デフォルトは無効
c). 感度：モーション検知の感度を 6 段階で設定　デフォルトは 3
d). エリア設定：モーション検知エリアを設定　デフォルトは全エリア

e). 時間帯：月曜日から日曜日まで任意で 4 パターンのスケジュール設定が可能
f). 時間間隔：モーション検知の検知間隔を 1～600 秒で設定可能

g). アラーム出力：外部アラーム出力設定　デフォルトはオフ
h). アラーム時間：モーションを検知時のアラーム出力時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒
i). 録画カメラ：モーション検知時に録画するチャンネルを設定　デフォルトはオフ
j). 画面ループ設定：モーション検知時に画面表示するチャンネルを設定　全てを設定した場合は、CH1～CH16 で自動切替えします。　デフォルトはオフ
k). PTZ 連動：CH1～CH16 の PTZ 機能を設定（PTZ カメラ使用時）

l). 録画時間：モーション検知時の録画時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒
m). メッセージ表示：モーション検知時にモニターにメッセージ表示をすることが可能　デフォルトはオフ
n). EMAIL 送信：モーション検知時に指定のアドレスへ EMAIL 送信　デフォルトはオフ
o). 内蔵ブザー：モーション検知時に内蔵のブザーを鳴らすことが可能　デフォルトはオフ
p). FTP アップロード：モーション検知時の映像を指定の FTP サーバーに伝送　デフォルトはオフ

5.1.2.2 映像遮蔽

■ メインメニュー>アラーム>映像遮蔽

■ 映像遮蔽:カメラのレンズ部を遮蔽された場合のアラーム設定(アラーム出力、アラーム録画)

a). CAM：CH1～CH16 のチャンネル毎の設定または全てを一括設定
b). 有効：映像遮蔽アラームを設定　デフォルトは無効
c). 感度:映像遮蔽アラームの感度を 6 段階で設定　デフォルトは 3
d). 時間帯：月曜日から日曜日まで任意で 4 パターンのスケジュール設定が可能
e). アラーム出力：外部アラーム出力設定　デフォルトはオフ
f). アラーム時間:映像遮蔽時のアラーム出力時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒
g). 録画カメラ：映像遮蔽時に録画するチャンネルを設定
デフォルトはオフ
h). 画面ループ設定：映像遮蔽時に画面表示するチャンネルを設定
全てを設定した場合は、CH1～CH16 で自動切替えします。
デフォルトはオフ
i). PTZ 連動：CH1～CH16 の PTZ 機能を設定（PTZ カメラ使用時）

j). 録画時間：映像遮蔽時の録画時間を 0～300 秒で設定
デフォルトは 10 秒

k). メッセージ表示：映像遮蔽時にモニターにメッセージ表示をすることが可能　デフォルトはオフ
l). EMAIL 送信：映像遮蔽時に指定のアドレスへ EMAIL 送信　デフォルトはオフ
m). 内蔵ブザー：映像遮蔽時に内蔵のブザーを鳴らすことが可能　デフォルトはオフ
n). FTP アップロード：映像遮蔽時の映像を指定の FTP サーバーに伝送　デフォルトはオフ

5.1.2.3 信号ロス

■ メインメニュー>アラーム>信号ロス

■

:映像信号ロス時のアラーム設定（アラーム出力、アラーム録画）

a). CAM：CH1～CH16 のチャンネル毎の設定または全てを一括設定
b). 有効：映像遮蔽アラームを設定　デフォルトは無効
c). 時間帯：月曜日から日曜日まで任意で 4 パターンのスケジュール設定が可能
d). アラーム出力：外部アラーム出力設定　デフォルトはオフ
e). アラーム時間：映像信号ロス時のアラーム出力時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒
f). 録画カメラ：映像信号ロス時に録画するチャンネルを設定　デフォルトはオフ
g). 画面ループ設定：映像信号ロス時に画面表示するチャンネルを設定　全てを設定した場合は、CH1～CH16 で自動切替えします。デフォルトはオフ
h). PTZ 連動：CH1～CH16 の PTZ 機能を設定（PTZ カメラ使用時）

i). 録画時間：映像信号ロス時の録画時間を 0～300 秒で設定
デフォルトは 10 秒
j). メッセージ表示：映像信号ロス時にモニターにメッセージ表示をすることが可能　デフォルトはオフ
k). EMAIL 送信：映像信号ロス時に指定のアドレスへ EMAIL 送信
デフォルトはオフ
l). 内蔵ブザー：映像信号ロス時に内蔵のブザーを鳴らすことが可能　デフォルトはオフ
m). FTP アップロード：映像信号ロス時の映像を指定の FTP サーバーに伝送　デフォルトはオフ

5.1.2.4 アラーム入力

■ メインメニュー>アラーム>アラーム入力

■

:外部アラーム入力設定
（アラーム出力、アラーム録画）

a). CAM：CH1～CH8 のチャンネル毎の設定または全てを一括設定
b). 有効：外部アラーム入力を設定　デフォルトは無効
c). 録画モード:接続する外部アラーム機器のタイプを設定
常時オフ（Normal Open）/常時オン（Normal Close）
d). 時間帯:月曜日から日曜日まで任意で 4 パターンのスケジュール設定が可能

e). 時間間隔：外部アラームの入力間隔を 1～600 秒で設定可能
f). アラーム出力：外部アラーム出力設定　デフォルトはオフ
g). アラーム時間：外部アラーム入力時のアラーム出力時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒
h). 録画カメラ：外部アラーム入力時に録画するチャンネルを設定　デフォルトはオフ
i). 画面ループ設定：外部アラーム入力時に画面表示するチャンネルを設定　全てを設定した場合は、CH1～CH16 で自動切替えします。　デフォルトはオフ
j). PTZ 連動：CH1～CH16 の PTZ 機能を設定（PTZ カメラ使用時）

k). 録画時間：外部アラーム入力時の録画時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒
l). メッセージ表示：外部アラーム入力時にモニターにメッセージ表示をすることが可能　デフォルトはオフ
m). EMAIL 送信：外部アラーム入力時に指定のアドレスへ EMAIL 送信　デフォルトはオフ
n). 内蔵ブザー：外部アラーム入力時に内蔵のブザーを鳴らすことが可能　デフォルトはオフ
o). FTP アップロード:外部アラーム入力時の映像を指定の FTP サーバーに伝送　デフォルトはオフ

5.1.2.5 警報出力

■ メインメニュー>アラーム>警報出力

■

:アラーム出力を設定

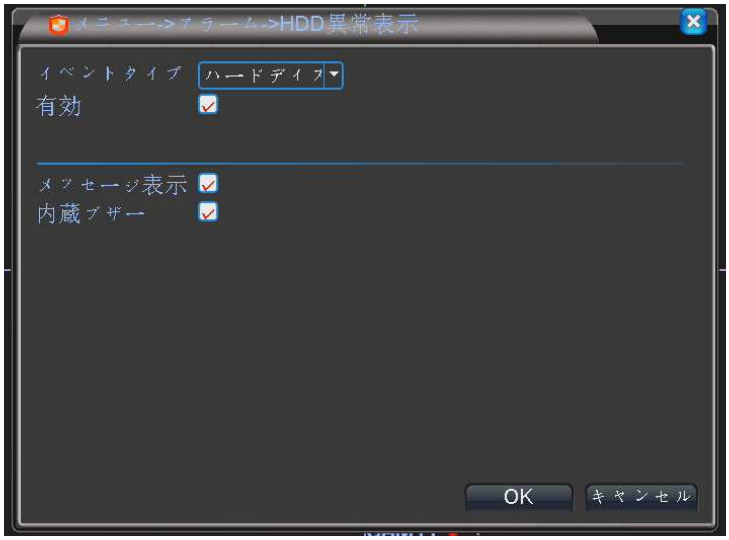
警報出力状態をコントロールします。
“●”表示の場合、状態をアラーム出力します。
「全」「1」とは、本装置が対応する警報出力の数です。

5.1.2.6 HDD 異常表示

■ メインメニュー>アラーム>HDD 異常表示

■

:HDD 異常時のアラーム設定
（アラーム出力、モニター表示）



a). イベントタイプ：異常内容を選択
ハードディスク無し/ハードディスクエラー/ハードディスク容量不足/ネット切断イベント/IP 重複
b). 有効：イベント発生時にアラームを出力　デフォルトは無効
メッセージ表示：選択したイベントタイプにより、モニターにメッセージを表示　デフォルトはオフ
c). ブザー：イベント発生時に内蔵ブザーを鳴らすことが可能
デフォルトはオフ

5.1.2.7 分析（管理機能）

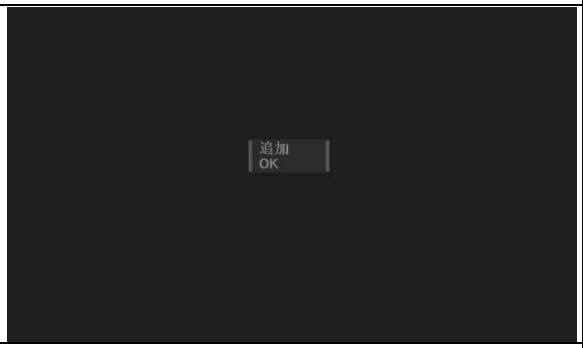
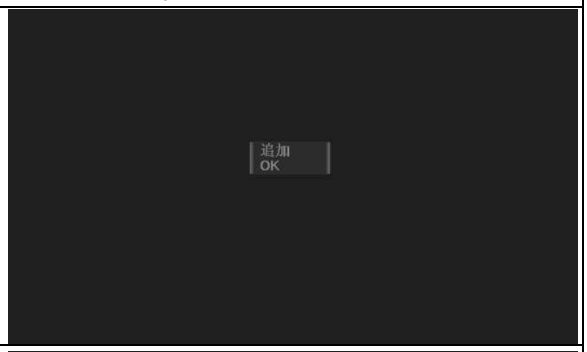
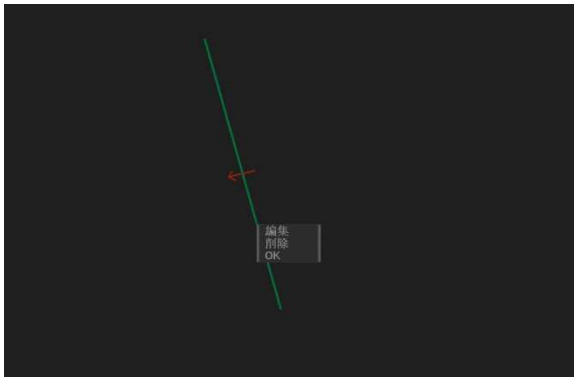
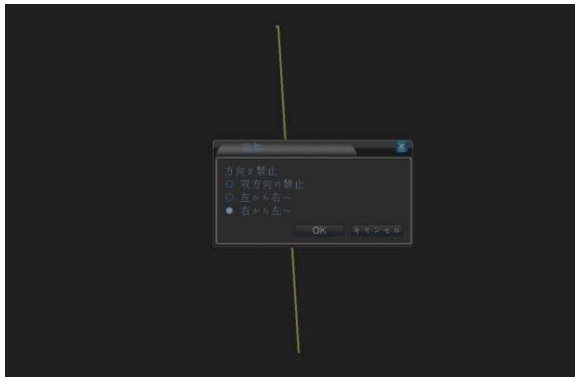
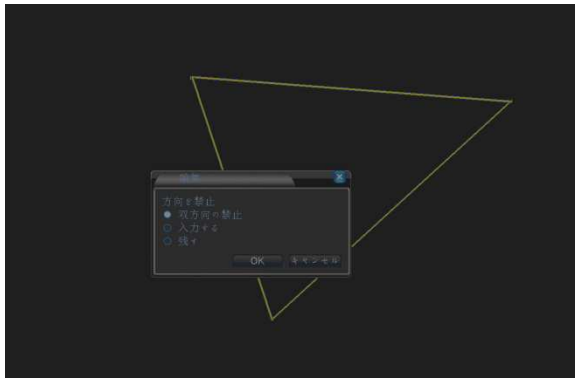
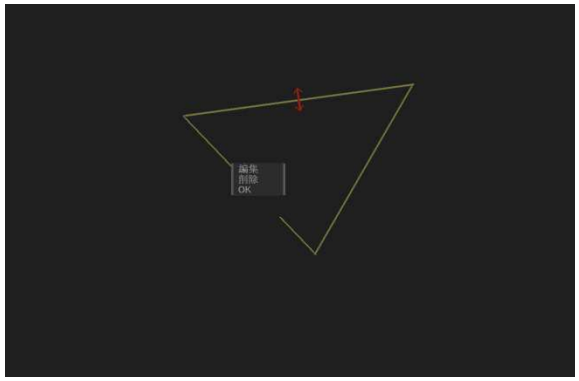
■ メインメニュー/アラーム/分析する

■

:アラームのパラメータを設定（使用、連動、規則）

a). CAM：CH1～CH16 のチャンネル毎の設定または全てを一括設定
b). 有効：分析機能を設定できます。デフォルトは無効
c). 分析する：ペリメーター警告（境界線の警報）/アイテムケア（物件の警報）/ビデオ診断の 3 種類から選択します。
d). ルール：トレースの表示設定をします。感度は 3 段階で設定できます。スクロールバーより最小移動距離の設定をします。警戒方法は警戒線と警戒エリアを指定できます。

- 警戒線の設定：警戒線の左側から右側または、右側から左側を通ると警報出力をします。
- 警戒エリアの設定：任意の警戒エリアを設定できます。設定のエリアを通ると警報出力をします。

手順	警戒線の設定	警戒エリアの設定
1		
2		
3		
4		

e). アラーム出力：設定に従い警報出力をします。
デフォルトはオフ

f). アラーム時間：アラーム発生時の録画時間を 10～300 秒で設定
デフォルトは 10 秒

g). 録画のカメラ：アラーム発生時に録画するチャンネルを設定
デフォルトはオフ

h). 画面ループ設定：アラーム発生時に画面表示するチャンネルを設定　全てを設定した場合は、CH1～CH16 で自動切替えします。デフォルトはオフ

i). PTZ 連動：CH1～CH16 の PTZ 機能を設定（PTZ カメラ使用時）

j). 録画時間：アラーム発生時の録画時間を 0～300 秒で設定　デフォルトは 10 秒

k). メッセージ表示：アラーム発生時にモニターにメッセージ表示をすることが可能　デフォルトはオフ

l). EMAIL 送信：アラーム発生時に指定のアドレスへ EMAIL 送信　デフォルトはオフ

m). 内蔵ブザー：アラーム発生時に内蔵のブザーを鳴らすことが可能　デフォルトはオフ

n). FTP アップロード：アラーム発生時の映像を指定の FTP サーバーへ伝送　デフォルトはオフ

5.1.3　システム設定

■ メインメニュー>システム

■

:システムの基本設定

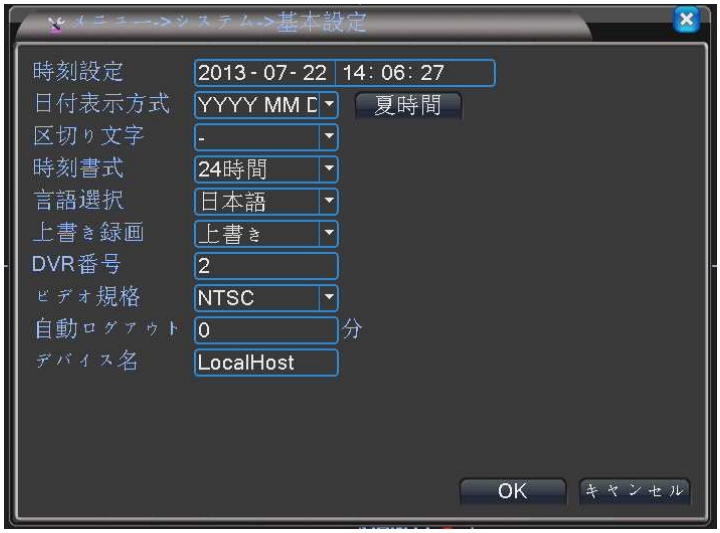
基本設定/録画画質/ネットワーク/メール設定/画面設定/PTZ 設定/シリアルポート/ループ表示/点セット/チャンネル管理

5.1.3.1 基本設定

■ メインメニュー>システム>基本設定

■

: 時刻設定/録画保存方法/言語設定/DVR 番号



a). 時刻設定：現在の日時を設定

b). 日付表示方法：YYYYMMDD（年月日）/MMDDYYY（月日年）/DDMMYYYY（日月年）より設定します。　デフォルトは YYYYMMDD

c). 区切り文字：文字を区切る記号を設定
【.】【-】【/】 の使用が可能　デフォルト値は【.】

d). 時刻書式：24 時間表示と 12 時間表示で設定が可能
デフォルトは 24 時間表示

e). 言語選択：28 ヶ国の言語設定が可能

f). 上書き録画：HDD が録画データでいっぱいになった時に上書き録画するか、録画停止するかを設定　デフォルトは上書き

g). DVR 番号：リモコンの操作番号を 0～998 で設定
デフォルトは 0

h). ビデオ規格：映像信号方式を NTSC または PAL より選択
日本では NTSC で使用します。

i). 自動ログアウト：無操作状態から自動的にログアウトする時間を 0～60 分で設定　デフォルトは 0（0 は無設定）

j). デバイス名：本装置の名称を最大 32 文字で設定
デフォルトは LocalHost

k). 夏時間：夏時間の日付と週数を設定
設定通りに 1 時間増えます。日本では設定の必要はありません。

5.1.3.2 録画画質設定

■ メインメニュー>システム>録画画質

■ 録画画質:録画解像度/フレームレート/録画画質の設定

a). CAM：CH1～CH16 のチャンネル毎の設定または全てを一括設定
b). 圧縮方式：H.264 と追加ストリームがあります。
H.264 はハードディスクへ録画する録画モード
追加ストリームはネットワークとモバイルによる監視モード
c). 解像度：H.264 の解像度はハードディスクへ録画する解像度
CIF(352x240)/HD1(720x240)/D1(720x480)/960H(960×480)
追加ストリームは IE やモバイルによる監視時の解像度
QCIF(176x120)/CIF(352x240)
d). フレーム/秒(FPS)：H264 は CIF 最大 30FPS/HD1 最大 30FPS/D1 最大 20FPS/960H 最大 15FPS
追加ストリームは QCIF と CIF 共に最大 6FPS
e). ビットレート：VBR（変動）と CBR（固定）の 2 種類より選択
f). 画質：6 段階より設定　デフォルトは 3
g). 転送単位(Kb/S):解像度とフレームレートにより計算されます。
h). 1 フレーム間隔(S)：2～12 で設定
i). 映像/音声：映像と音声を出力するか選択
デフォルトは映像オン、音声オフ

5.1.3.3 ネットワーク設定

■ メインメニュー>システム>ネットワーク

■

: IP アドレスと通信プロトコル等の設定

a). 接続方法：ネットワーク接続方法を選択
b). DHCP：選択すると IP アドレスを自動設定
選択しない場合は、手動で IP アドレスを入力
c). IP アドレス：本装置に割り当てるプライベート IP アドレス（ルーターの環境に応じて設定） デフォルトは 192.168.1.10
d). サブネットマスク：ネットワークの環境に応じて設定（ルーターの設定画面で確認が可能） デフォルト値は 255.255.255.0
e). ゲートウェイ：接続するルーターの IP アドレスを入力
デフォルトは 192.168.1.1
f). DNS1：プロバイダーから指定されたサーバーのアドレスを入力
デフォルトは 192.168.1.1
g). DNS2：プロバイダーから指定されたサーバーのアドレスを入力
デフォルトは 8.8.8.8
h). メディアポート：ビデオポートを設定 デフォルト値は 34567
i). HTTP ポート：本装置へ HTTP を使用してアクセスする時のポート番号を入力（Web ポート） デフォルトは 80
j). 転送基本：最適化（自動調整）/画質優先/速度優先より選択
デフォルトは画質優先

5.1.3.4 メール設定

■ メインメニュー>システム>メール設定

■

: ネットワークサービスのパラメータの設定

a). PPPOE：PPPOE を使用する場合はユーザーアカウントとパスワードを入力　デフォルトはオフ

b). NTP 設定：NTP サーバーとリンクさせる場合に設定
デフォルトはオフ　※お勧めの NTP サーバー：ntp.nict.jp

c). Email 設定：アラーム発生時の EMAIL 送信を設定
デフォルトはオフ

d). IP 権限設定：ブラックリストとホワイトリストを設定
デフォルトはオフ

e). DDNS：DDNS を使用する場合に設定　デフォルトはオフ
※DDNS のアドレスをご希望の場合は、弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご依頼ください。

f). FTP 設定：アラーム発生時のメッセージを FTP より伝送
デフォルトはオフ

g). ARSP：※本装置では使用しません。

h). アラームセンター：警報機能があるサーバーの使用が可能
デフォルトはオフ

i). 無線接続：※本装置では使用しません。

j). Mobile Monitor：モバイルポートを使用する場合に設定
デフォルトは 34599

k). UPNP：UPNP を設定　デフォルトはオフ

l). Wifi：※本装置では使用できません。

m). RTSP：IE ブラウザ以外のサーバーに使用するポートですが、基本的には変更しません。変更すると映像が表示できなくなる場合があります。　デフォルトは 554

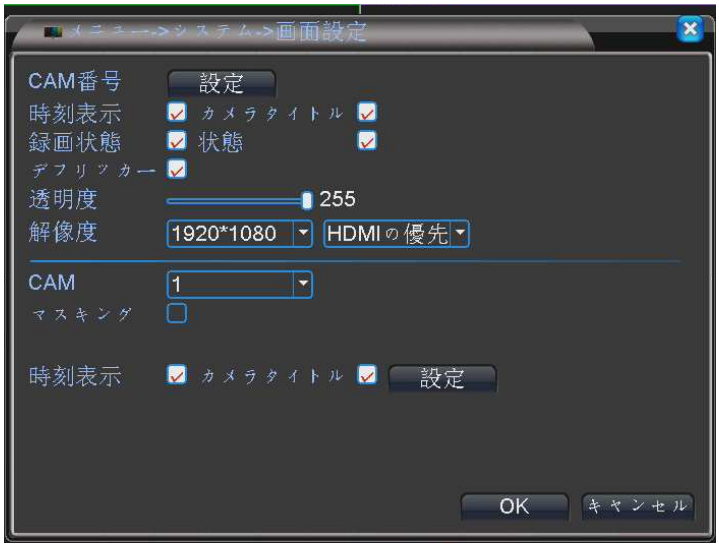
n). クラウド:本装置では使用できません。

5.1.3.5 表示設定

■ メインメニュー>システム>画面設定

■

: 画面表示の設定



a). CAM 番号：全 16 チャンネルのタイトルを設定

b). 時刻の表示：時刻表示のオン/オフ　デフォルトはオン

c). カメラタイトル：カメラタイトル表示のオン/オフ
デフォルトはオン

d). 録画状態：録画状態の表示のオン/オフ　デフォルトはオン

e). 状態：アラーム状態の表示のオン/オフ　デフォルトはオン

f). デフリッカー：映像のフリッカーを低減　デフォルトはオン

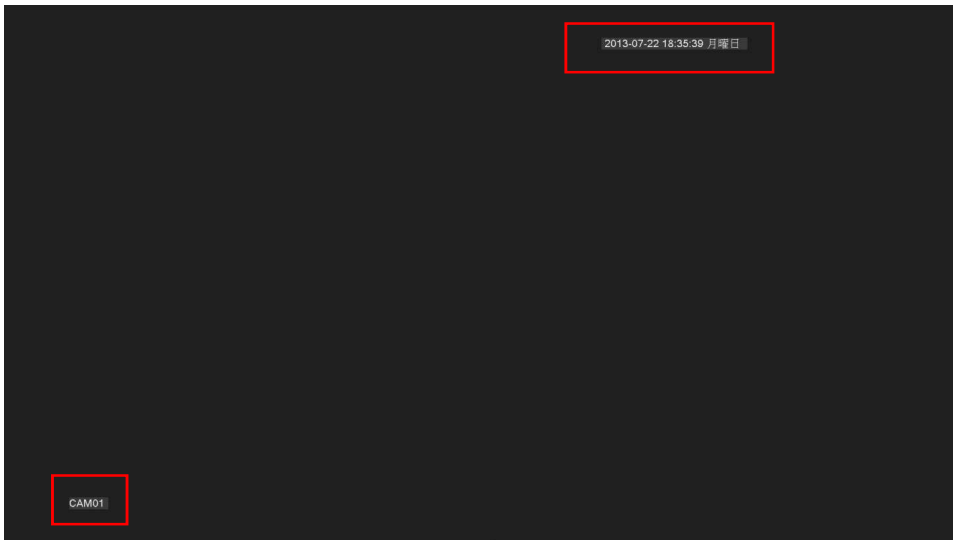
g). 透明度：OSD のダイアログの透明度を調整

h). 解像度：VGA と HDMI の解像度を調整　デフォルトは 1280*720

i). CAM：CH1～CH16 を選択

j). マスキング：CH1～CH16 を選択して任意場所にマスキング設定が可能（各チャンネルに 1 ヶ所のみ）

k). 時刻表示/カメラタイトル:時刻表示とカメラタイトルの表示位置を設定

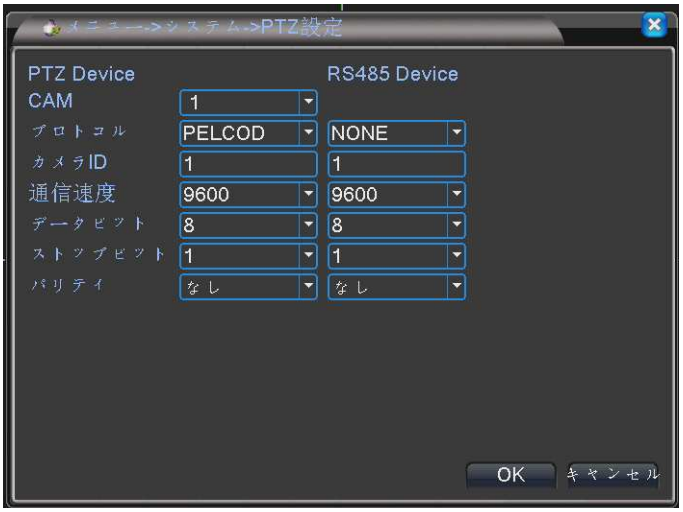


5.1.3.6 PTZ 設定

■ メインメニュー>システム>PTZ 設定

■

: PTZ カメラの設定



a). CAM：CH1～CH16 を選択
b). プロトコル:通信用のプロトコルを選択　デフォルトは PELCOD
c). カメラ ID：PTZ カメラの ID を 1～255 より設定
デフォルトは 1
d). 通信速度：コントローラーに合わせた通信速度を設定
デフォルトは 9600
e). データビット：コントローラーに合わせたデータビットを設定
デフォルトは 8
f). ストップビット：コントローラーに合わせたストップビットを設定　デフォルトは 1
g). パリティ：コントローラーに合わせたパリティビットを奇数/偶数より設定　デフォルトはなし

5.1.3.7 シリアルポート

■ メインメニュー>システム>シリアルポート

■

: RS232 シリアルポートの設定

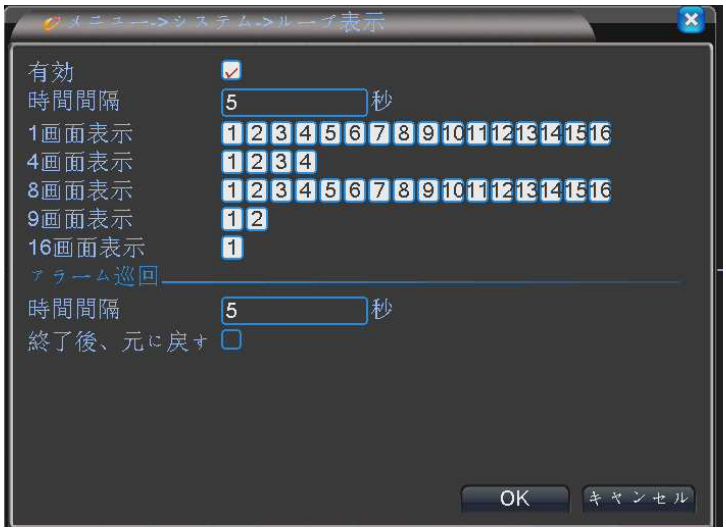
a). 機能：GPS/General/InteractCmd/Ranging/Transparent より選択　デフォルトは NONE
b). 通信速度：通信速度を選択　デフォルト値は 115200
c). データビット：データビットを選択　デフォルトは 8
d). ストップビット：ストップビットを選択　デフォルトは 1
e). パリティ：パリティビットを選択　デフォルトはなし

5.1.3.8 ループ表示

■ メインメニュー>システム設定>ループ表示

■

: 画面自動切替え機能の設定



a). 有効：画面自動切替え機能を設定　デフォルトは無効
b). 時間間隔：画面自動切替えの間隔を 5～120 秒で設定
デフォルトは 5 秒
c). 1 画面表示：1 画面で自動切替えするチャンネルを設定
デフォルトは全てオン
d). 4 画面表示：自動切替えする 4 分割画面を選択
CH1～CH4/CH5～CH8/CH9～CH12/CH13～CH16
デフォルトは全てオン
e). 8 画面表示：自動切替えする 8 分割画面（メイン 1 画面他 7 画面）のメインチャンネルを設定　デフォルトは全てオン

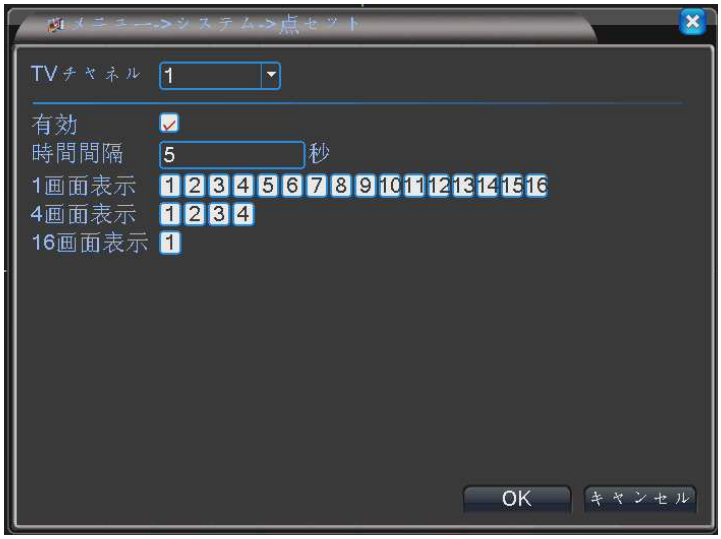
f). 9 画面表示：自動切替えする 9 分割画面を設定
CH1～CH8/CH9～CH16　デフォルトは全てオン
g). 16 画面表示:16 分割画面を自動切替えに設定　デフォルトはオン
h). アラーム巡回時間間隔：アラーム発生時の画面自動切替えの間隔を 5～120 秒で設定　デフォルトは 5 秒
i). 終了後元に戻す：アラーム発生終了後にライブ画面に戻る設定

5.1.3.9 点セット

■ メインニュー>システム>点セット

■

: スポット映像出力の設定



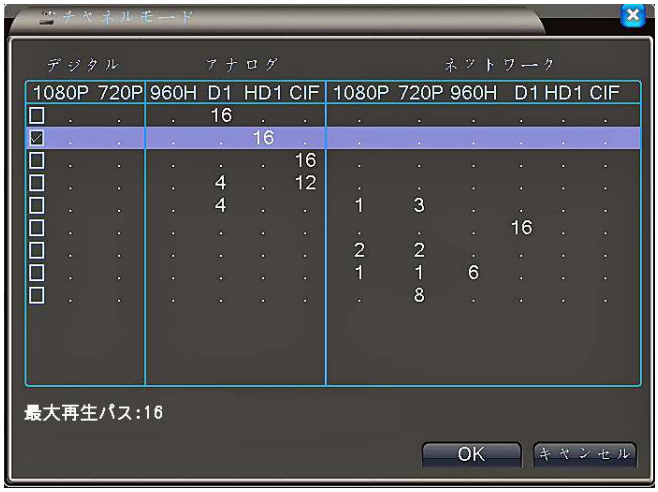
a). 有効：背面パネルの SPOT OUT からの映像出力を画面自動切替えに設定　デフォルトはオフ
b). 時間間隔：画面自動切替えの間隔を 5～120 秒で設定
デフォルトは 5 秒
c). 1 画面表示：1 画面で自動切替えするチャンネルを設定
デフォルトは全てオン
4 画面表示：自動切替えする 4 分割画面を選択
CH1～CH4/CH5～CH8/CH9～CH12/CH13～CH16
デフォルトは全てオン
d). 16 画面表示：16 分割画面を自動切替えに設定　デフォルトはオン

5.1.3.10 チャンネル管理

- メインメニュー>システム>チャンネル管理
-

: チャンネルのモードを設定

a). チャンネルのモード：カメラの解像度のモードを設定します。
「デジタル」接続可能な HD-SDI カメラの解像度と台数
「アナログ」接続可能なアナログカメラの解像度と台数
「ネットワーク」接続可能なネットワークカメラの解像度と台数



最大再生パス：同時再生可能なチャンネル数

5.1.4 管理ツール

- メインメニュー>管理ツール
-

:システムツールの設定

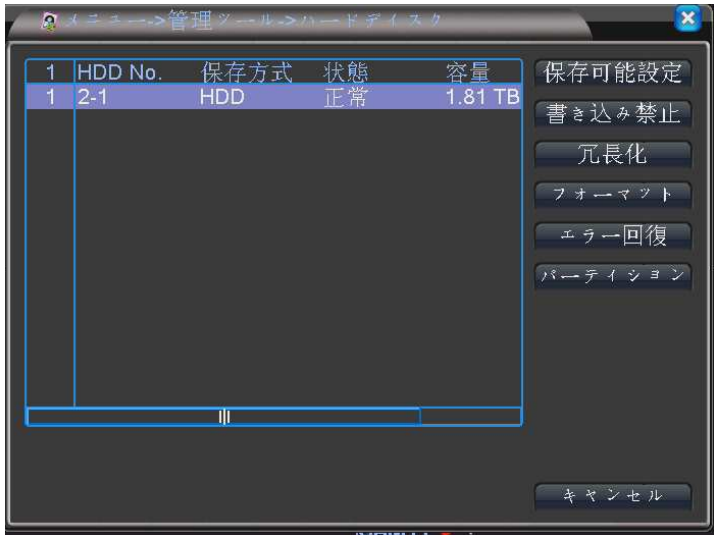
ハードディスク/アカウント/オンライン/表示調整/自動保全/初期値/アップグレード/外部機器/インポート・エクスポート

5.1.4.1 ハードディスク

■ メインニュー>管理ツール>ハードディスク

■

:ハードディスクの設定



a). 保存可能設定：ハードディスクを録画可能な状態に設定 デフォルトは録画可能

b). 書き込み禁止：ハードディスクを録画できない状態に設定（再生動作のみ可能）

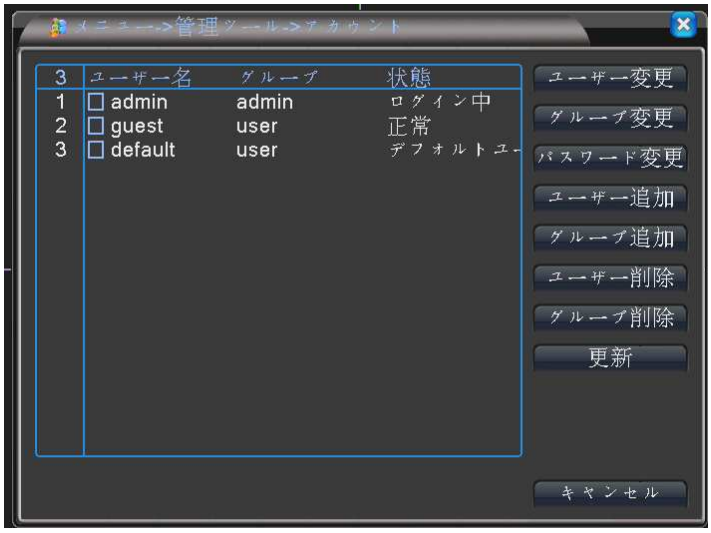
c). 冗長化：2 個のハードディスクに同時に録画保存する設定　※ハードディスクを 2 個搭載できるモデルのみ

d). フォーマット：ハードディスクの初期化

e). エラーの回復：ハードディスクにエラーが発生した場合の自動修復機能　※録画データが消失する可能性がありますので、必要な録画データを事前にバックアップしてください。

f). パーテーション:ハードディスクを動画保存領域と静止画保存領域に分けることが可能

5.1.4.2 アカウント



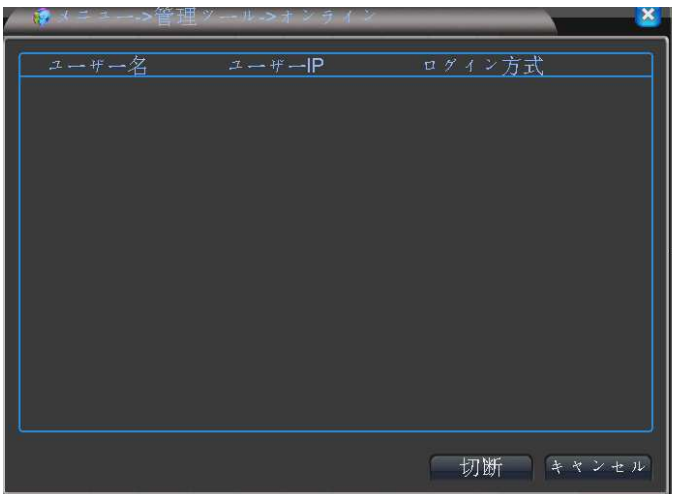
- メインメニュー>管理ツール>アカウント
-

:ユーザー管理

  ユーザー名・権限・パスワード等の設定

a). ユーザー変更：ユーザーの変更と権限の設定
b). グループ変更：グループの変更と権限の設定
c). パスワード変更：パスワードの登録・変更
d). ユーザー追加：ユーザーの追加と権限の設定
e). グループ追加：グループの追加と権限の設定
f). ユーザー削除：ユーザーを削除
g). グループ削除：グループを削除
h). 更新：各項目の設定を更新

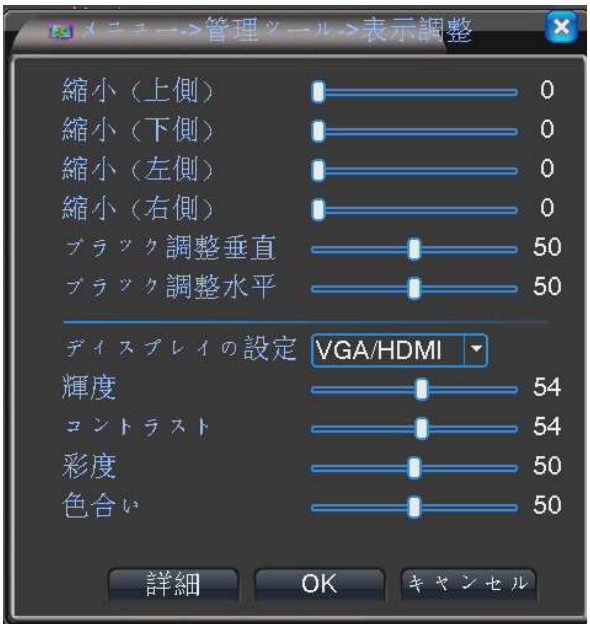
5.1.4.3 オンライン



- メインメニュー>管理ツール>オンライン
-

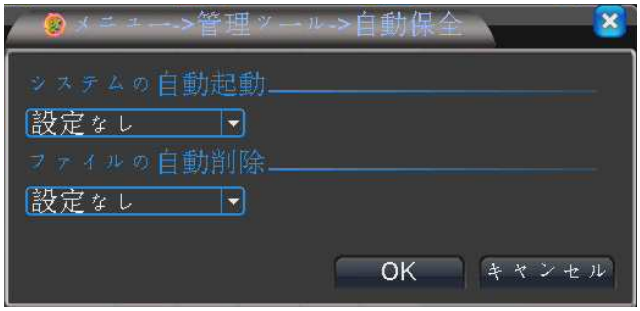
:オンライン中のユーザー名・ユーザーIP・ログイン方式を表示

5.1.4.4 表示調整



- メインメニュー>管理ツール>表示調整
- 表示調整:映像出力調整と映像の輝度・コントラスト・彩度・色合いの調整

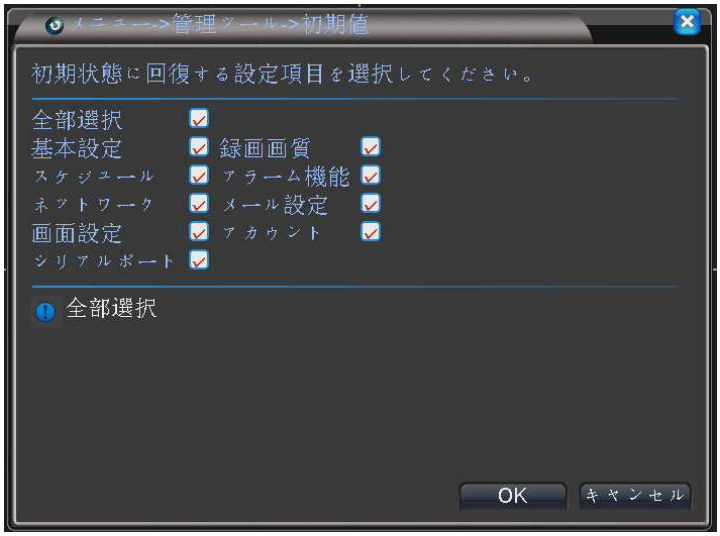
5.1.4.5 自動保全



- メインメニュー>管理ツール>自動保全
- 自動保全:自動保全設定

  システムを自動的に再起動させる曜日と時間を設定
  自動に録画ファイルを削除する日数を 1～255 日以前より設定

5.1.4.6 初期値



- メインメニュー>管理ツール>初期値
- 初期値:出荷時の設定に初期化

  初期値に復元する項目を選択
  基本設定/録画画質/スケジュール/アラーム機能/ネットワーク/メール設定/画面設定/アカウント/シリアルポート

5.1.4.7 アップグレード

- メインメニュー>管理ツール>アップグレード
-

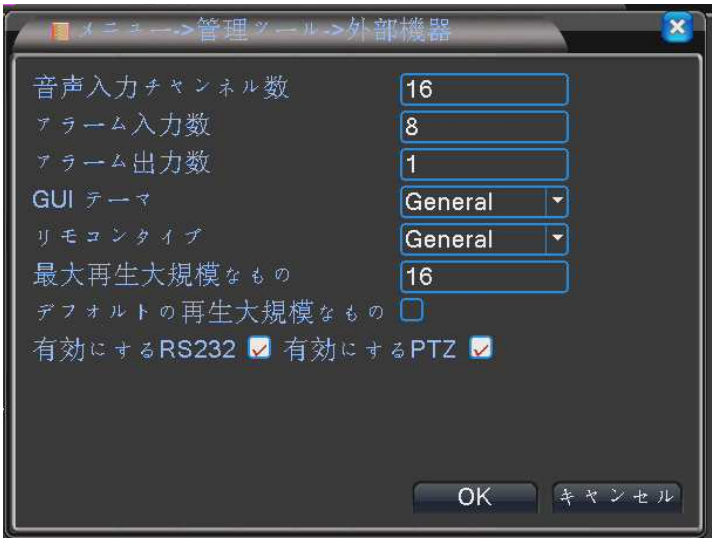
:ファームウェアの更新

  更新するファームウェアを USB メモリーにて接続し、アドバンスを選択するとファームウェアの更新を開始します。

5.1.4.8 外部機器

- メインメニュー>管理ツール>外部機器
-

:外部機器接続時の情報を入力

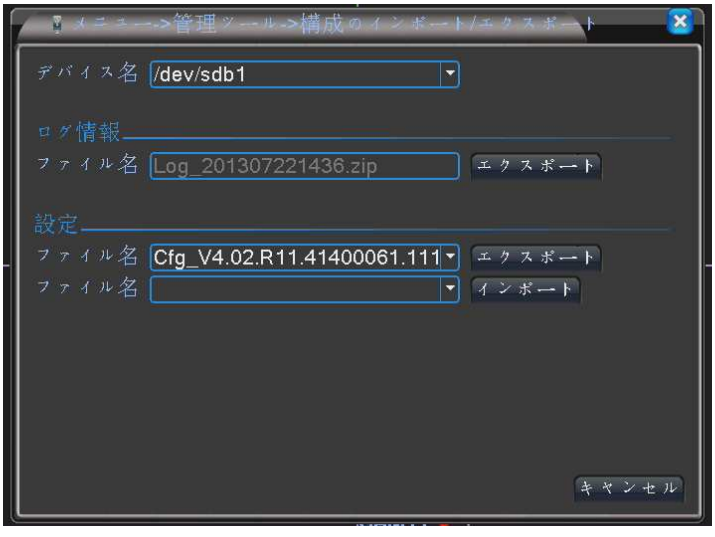


5.1.4.9 インポート/エクスポート

- メインメニュー>管理ツール>インポート/エクスポート
-

:ログ情報とメニュー設定内容を USB メモリーへ保存(エクスポート)

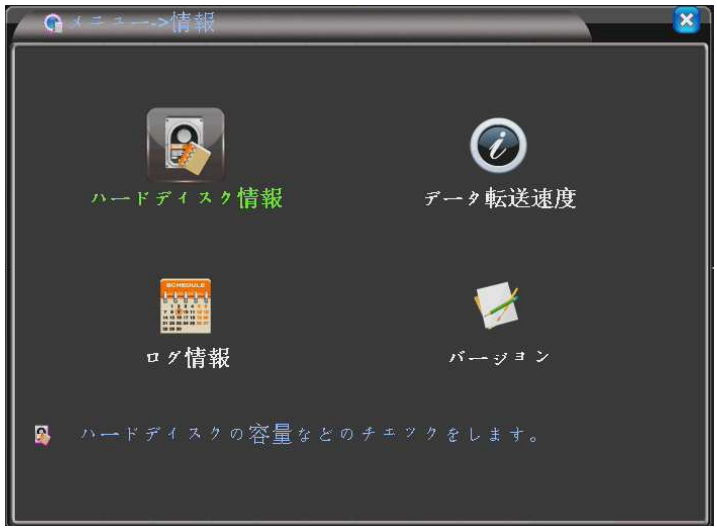
  USB メモリーへ保存したメニュー設定内容を一括で再設定したり、他の同機種に一括設定(インポート)



5.1.5 情報

■ メインメニュー>情報

■ 情報:システム情報を確認
ハードディスク情報/データ転送速度
/ログ報/バージョン

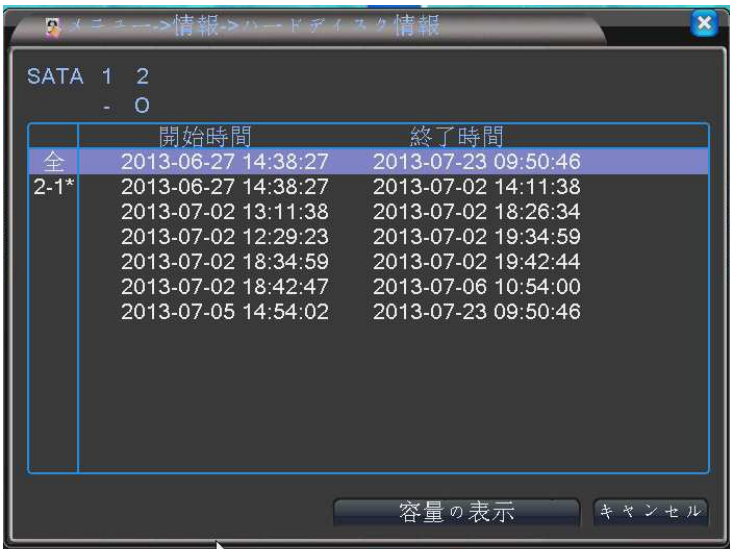


5.1.5.1 ハードディスク情報

■ メインメニュー>情報>ハードディスク情報

■ ハードディスク情報:ハードディスク情報を確認
総容量/録画可能空き容量/状態

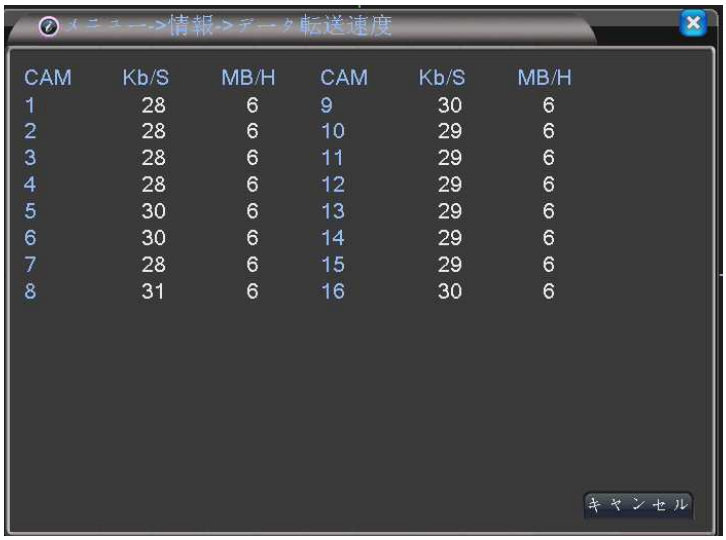
＜録画時間＞
録画の開始時間と終了時間を表示



5.1.5.2 データ転送速度

- メインメニュー>情報>データ転送速度
-

:システムのストリーム情報を確認
各チャンネルの録画ビットレートを表示



5.1.5.3 ログ情報

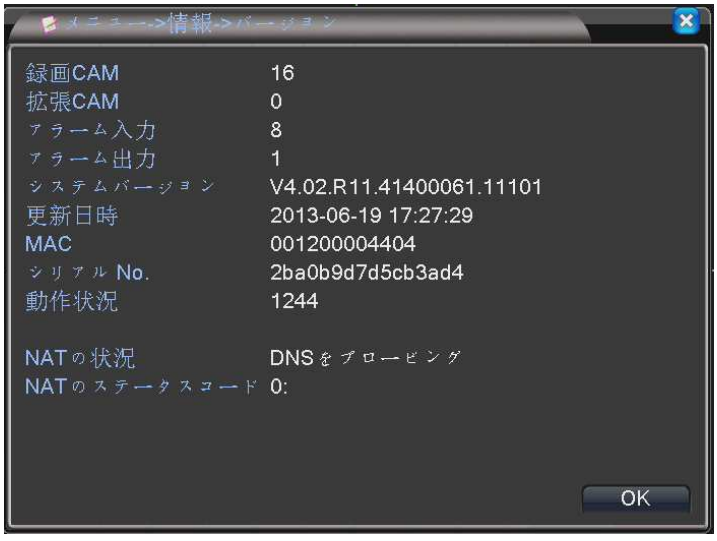
- メインメニュー>情報>ログ情報
-

:システムのログ情報を確認
本装置の動作情報記録を表示

5.1.5.4 バージョン

- メインメニュー>情報>バージョン
-

:システムのバージョン情報を確認
ファームウェアのバージョン情報/MAC アドレス/シリアル番号などを表示



5.1.6 ログアウト

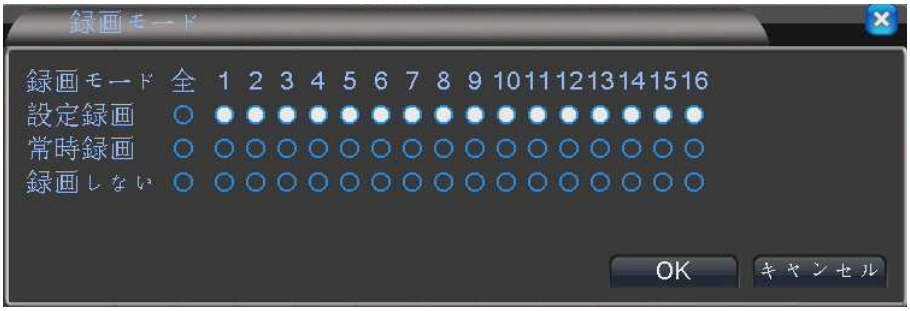
■ メインメニュー>ログアウト

■ :ログアウト/電源 OFF/再起動

5.2 録画モード

■ クイックメニュー>録画モード

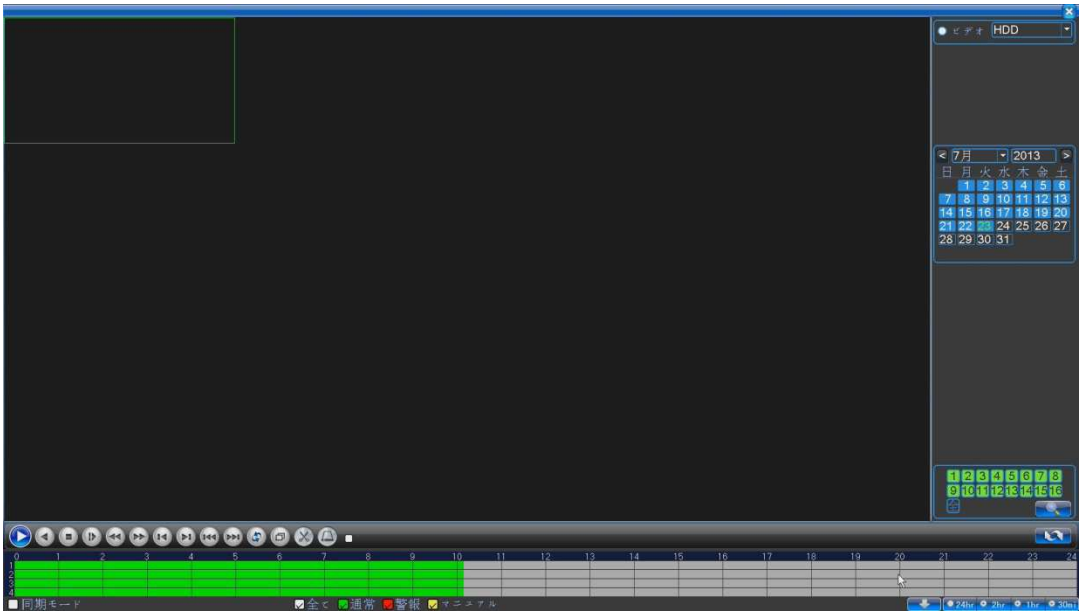
■ 各チャンネルの録画モードを設定（設定録画/常時録画/録画しない）



5.3 録画再生

■ クイックメニュー>録画再生

■ 詳細内容は**エラー！参照元が見つかりません。**録画再生を参照してください。



5.4 PTZ コントロール

- クイックメニュー>PTZ コントロール
- PTZ カメラの操作の前に PTZ 設定を行ってください。
- 詳細内容は**エラー！参照元が見つかりません。**PTZ 設定を参照してください。

5.5 高速 PTZ

- クイックメニュー>高速 PTZ
- 画面上でマウスにて PTZ カメラの方向をコントロール

5.6 警報出力

- クイックメニュー>警報出力
- 詳細内容は 5.1.2.5 警報出力を参照してください。

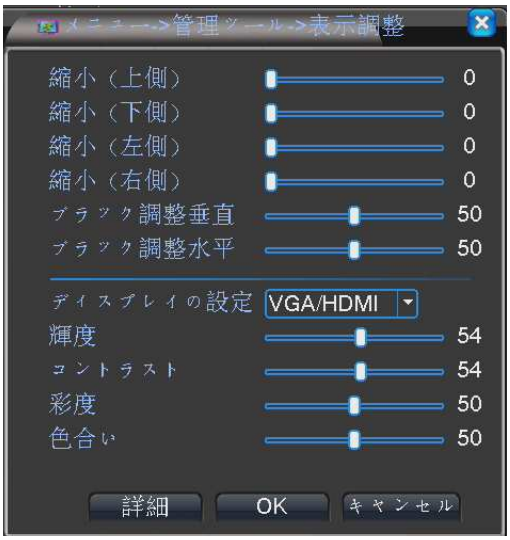
5.7 色彩調整

- クイックメニュー>色彩調整

輝度・コントラスト・彩度・色合い・ゲイン・濃淡・シャープネスを調整

5.8 表示調整

- クイックメニュー>表示調整
- 詳細内容は 5.1.4.4 表示調整を参照してください。

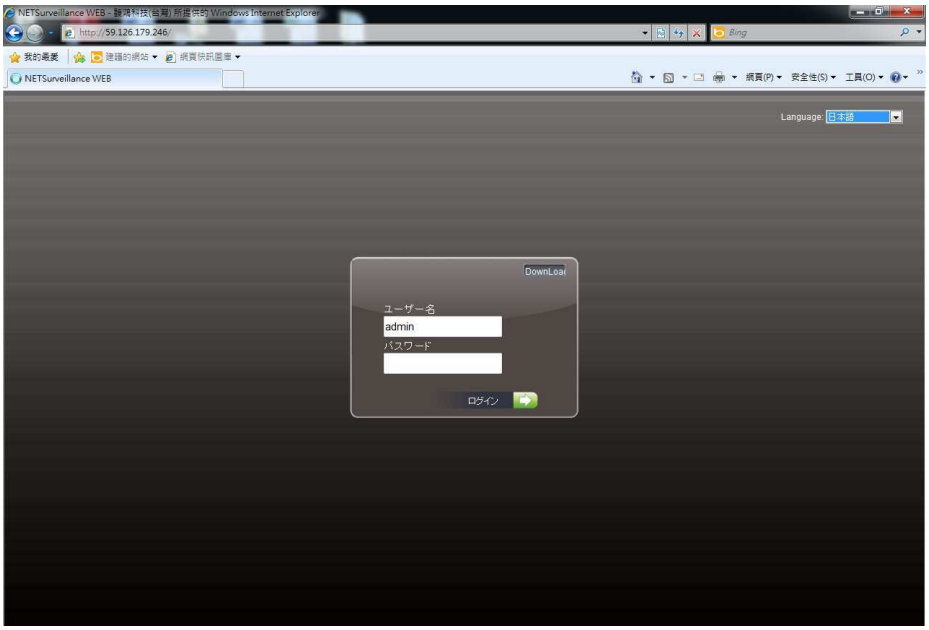


5.9 ログアウト

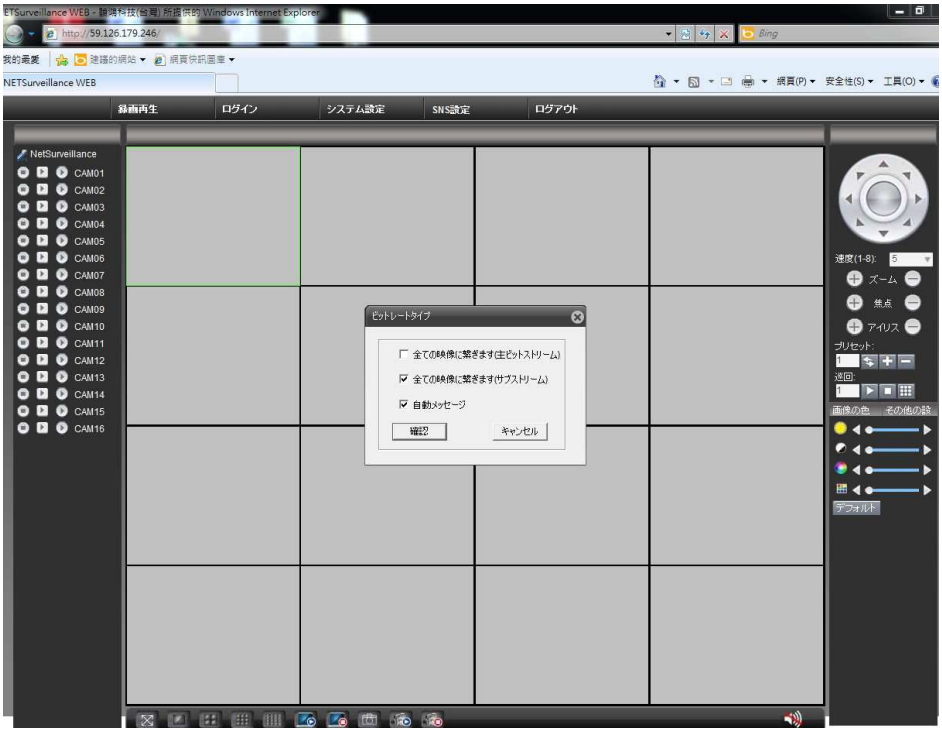
- クイックメニュー>ログアウト
- 詳細内容は**エラー！参照元が見つかりません。**ログアウトを参照してください。

C. ネットワーク遠隔監視

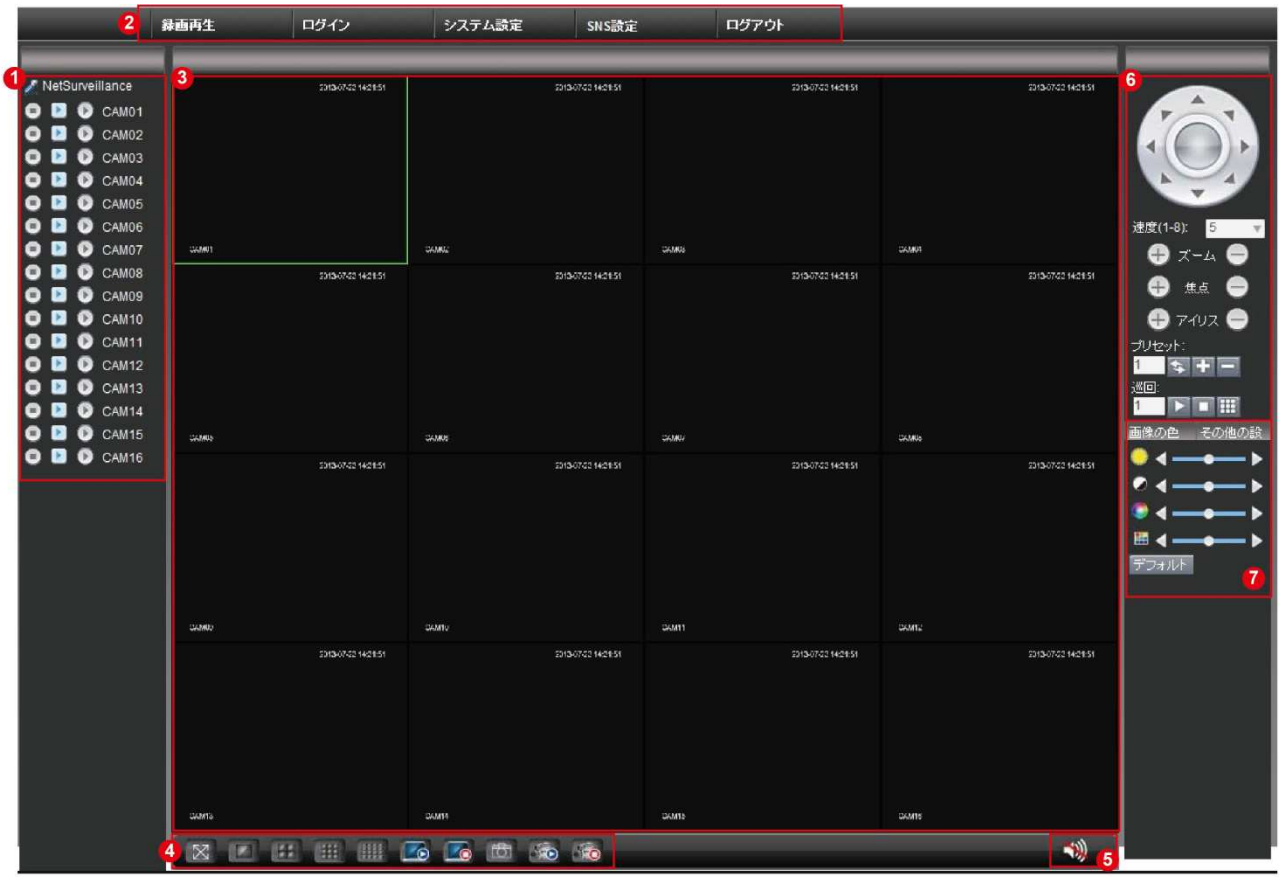
1. Internet Explorerより接続
   - Internet Explorerを起動し、接続するDVR本体設置場所のネットワーク固定IP アドレスやDDNSのアドレスを入力します。
   - 以下ログイン画面が表示されます。
   - 使用言語を選択します。
   - ユーザー名とパスワードを入力したら、分割画面が表示されます。
   - パスワードを設定していない場合は、ユーザー名にadminを入力すればログインができます。



2. ライブ画面にログイン
   - ビットレートタイプ：主ビットストリームまたは、サブビットストリームを選択します。デフォルトはサブビットストリームです。



3. 操作画面の説明



❶ チャンネルの選択
❷ システム機能

■ 録画再生：再生可能な録画映像を検索

■ ログイン：ログイン情報を表示

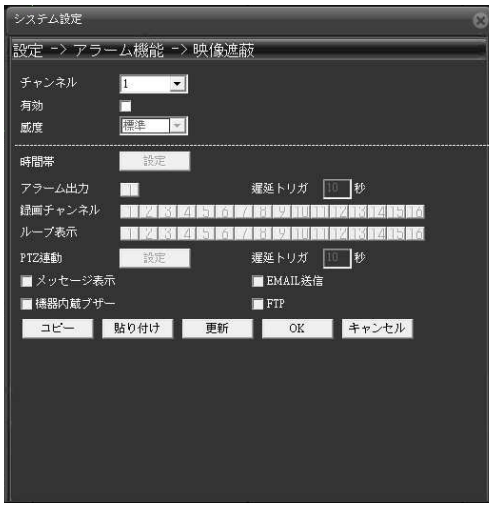
■ システム設定:録画機能/アラーム機能/システム設定/管理ツール/システム情報

1） 録画機能：録画設定

2) アラーム機能：動体検知/映像遮蔽/信号ロス/アラーム入力/アラーム出力/知的な分析/異常処理

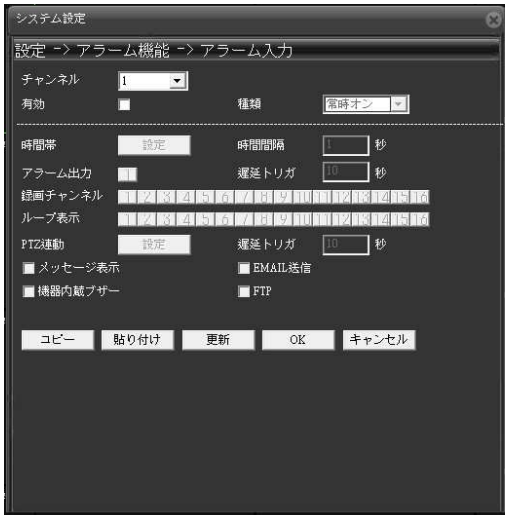
2.1) 動体検知

2.2) 映像遮蔽



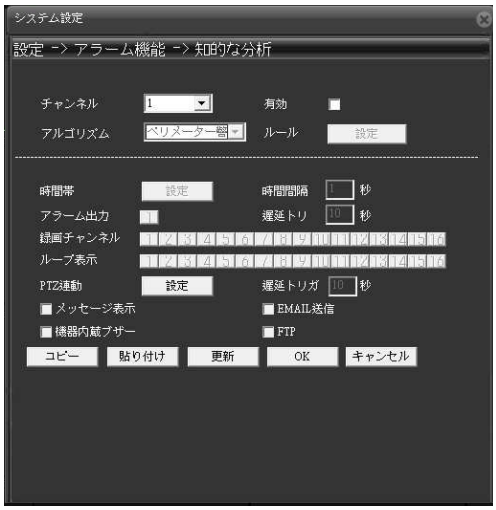
2.3) 信号ロス

2.4) アラーム入力

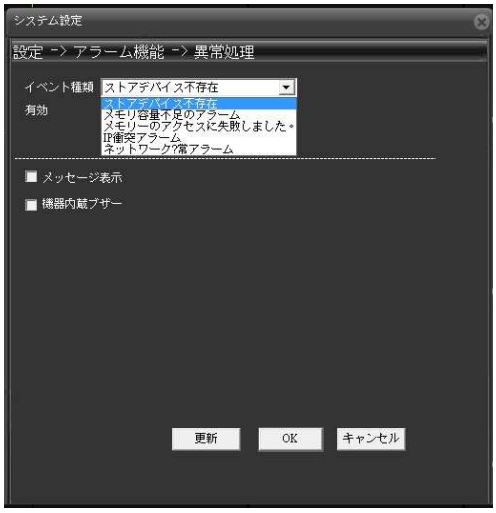


2.5) アラーム出力

2.6) 知的な分析

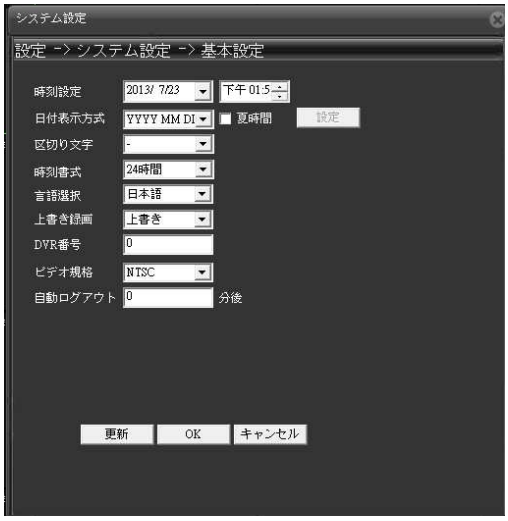


2.7) 異常処理



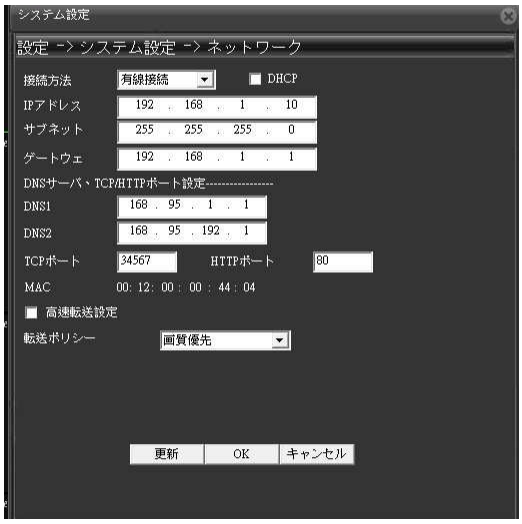
3) システム設定：基本設定/エンコード（録画条件）/ネットワーク/サービス設定/画面設定/PTZ設定/シリアルポート

3.1) 基本設定

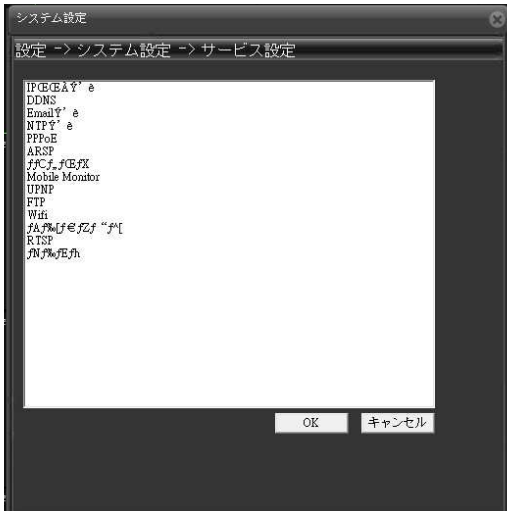


3.2) エンコード（録画条件）

3.3) ネットワーク



3.4) サービス設定（ネットワーク）



3.5) 画面設定

3.6) PTZ設定

3.7) シリアルポート（RS232）

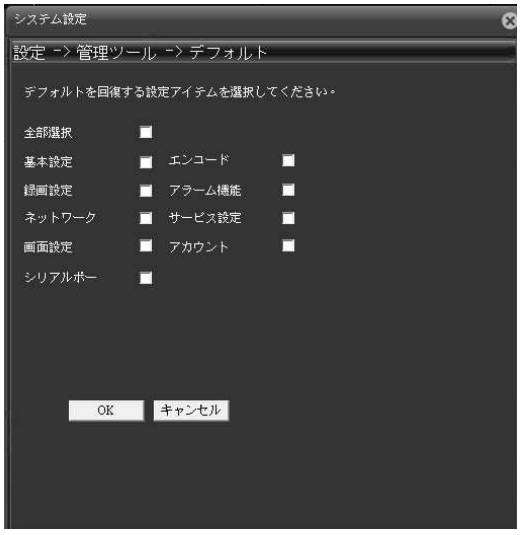
4) 管理ツール:ハードディスク/アカウント/自動メンテ/デフォルト/輸入と輸出/再起動/アップグレード/チャンネルモード

4.1) ハードディスク

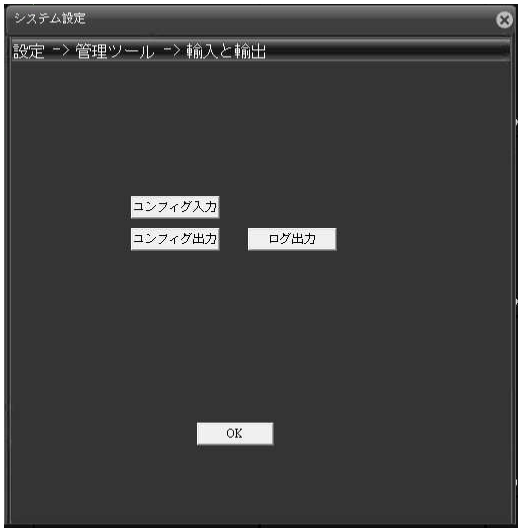
4.2) アカウント（ユーザー管理）

4.3) 自動メンテ

4.4) デフォルト（初期化）

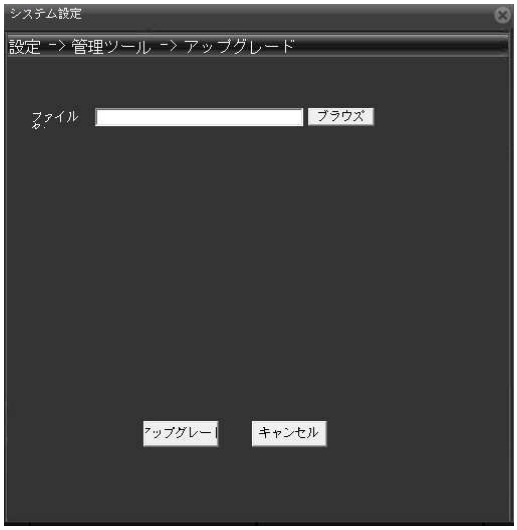


4.5) 輸入と輸出（インポート・エクスポート）



4.6) 再起動

4.7) アップグレード（ファームウェア更新）



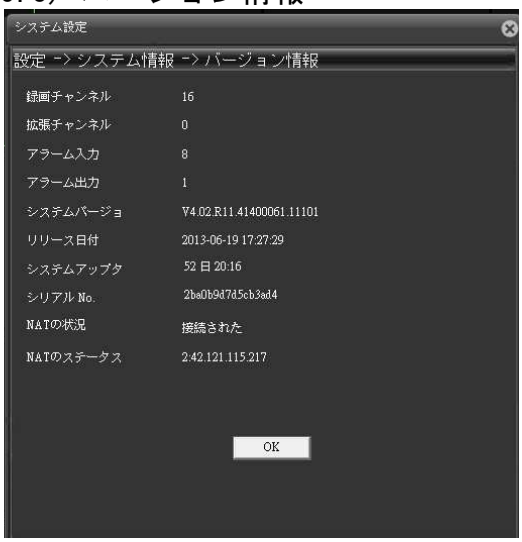
4.8) チャンネルモード

5) システム設定：ハードディスク/ログ情報/バージョン情報

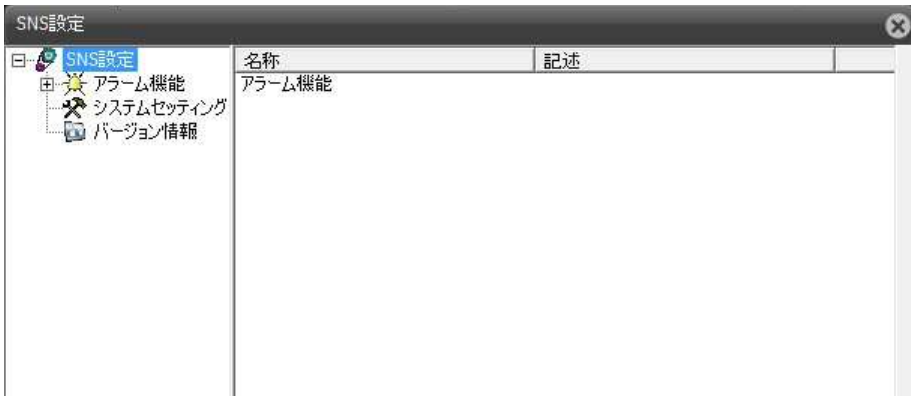
5.1) ハードディスク

5.2) ログ情報

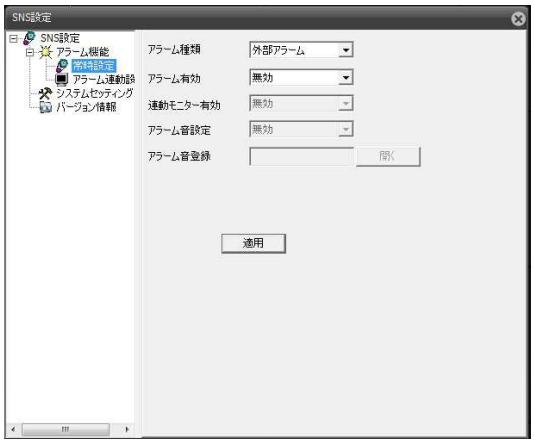
5.3) バージョン情報



■ SNS設定：録画データと静止画像の保存先とアラームの設定をします。

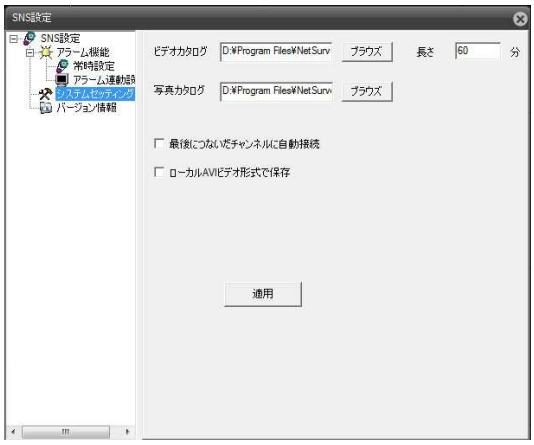


1) アラーム機能>通常設定

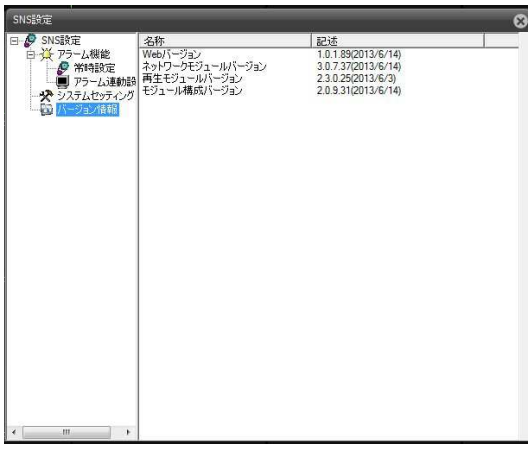


アラーム機能>アラーム連動設定

2) システムセッティング



3) バージョン情報



■ ログアウト：ライブ映像からのログアウト

❸ 再生画面及びチャンネル表示

❹ 操作ボタン

	全画面
	1画面
	4分割画面
	9分割画面
	16分割画面

	全てのチャンネルを表示
	全てのチャンネルを閉じる
	静止画を保存
	全てのチャンネルを録画
	全てのチャンルルの録画を停止

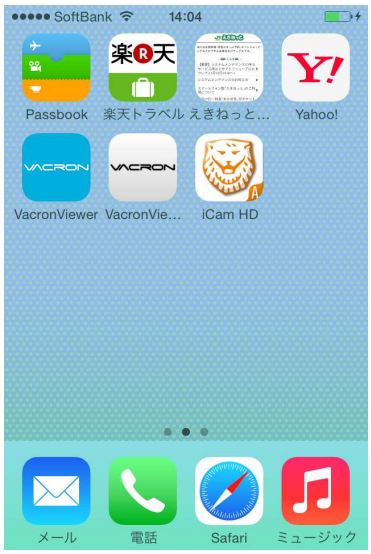
❺ 音声のオン・オフ

❻ PTZカメラの操作

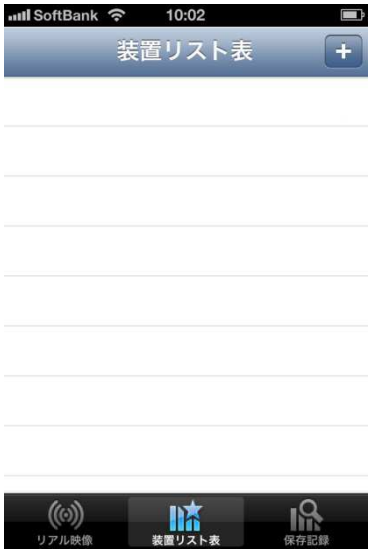
❼ 映像の色彩の調整

■スマートフォンからのモニタリング■

各社のスマートフォンストアより、スマートフォン用のアプリ“Vacron Viewer”を検索してインストールします。



“Vacron Viewer”を起動させます。

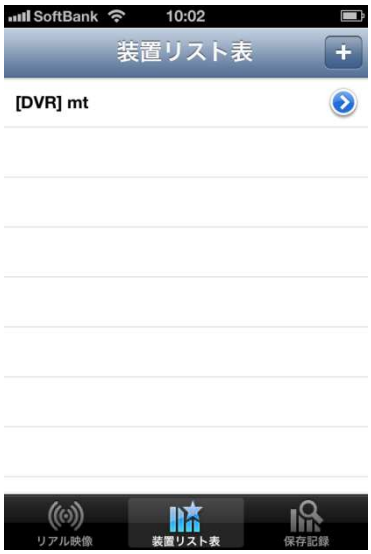


を選択して、装置リスト表を表示させ、接続する DVR を登録します。

を選択して、装置情報画面へ必要事項を入力します。

種類	DX-DVR を選択します。
装置名称	任意の名称を入力します。
設備位置	プロバイダーより、割り当てられた固定 IP アドレスまたは、DDNS のアドレスを入力します。
ビデオポート	本機に設定しているビデオポートを入力します。
ユーザー名	本機に設定しているユーザー名を入力します。（設定していない場合は未入力）
パスワード	本機に設定しているパスワードを入力します。（設定していない場合は未入力）
チャンネル	チャンネル数を入力します。

全ての入力が終わったら、『完了』を選択すると、装置リスト表に登録されます。



を選択すると、設定内容の確認・変更が可能です。

装置リスト表から接続する DVR を選択すると、ビューアー画面に接続した DVR の映像が表示されます。

8 分割①	チャンネル 1～8 を表示します。
8 分割②	チャンネル 9～16 を表示します。
4 分割①	チャンネル 1～4 を表示します。
4 分割②	チャンネル 5～8 を表示します。
4 分割③	チャンネル 9～12 を表示します。
4 分割④	チャンネル 13～16 を表示します。
1～16	各チャンネルを全画面表示します。
映像	静止画を保存します。
録画	動画を保存します。

静止画を保存する場合は、表示しているカメラの映像を選択し、『映像』を選択します。
動画を保存する場合は、表示しているカメラの映像を選択し、『録画』を選択します。
動画の保存を止める場合は、再度『録画』を選択します。

保存したデータを再生させる場合は、

を選択します。

『映像ファイル（静止画）』または、『映像（動画）』から保存データを選択すると、選択したデータが再生
されます。

保存データを削除する場合は、『編集』を選択し、削除する保存データの を選択します。
『削除』を選択すると、保存データが削除されます。

VACRON

ADVANCES IN SECURITY SOLUTIONS

-輸入販売元-

株式会社マザーツール

〒386-0033 長野県上田市御所 431-6

TEL:0268(25)2332　FAX:0268(25)2398